

# 関 連 資 料

- ・ 諮問文 (資料 1)
- ・ 委員名簿 (資料 2)
- ・ 開催経過 (資料 3)
- ・ 市民意識調査 (資料 4)
- ・ 関係団体アンケート (資料 5)
- ・ フォーカスグループインタビュー (資料 6)



富福総発第 288 号  
令和 2 年 3 月 25 日

富士市敬老事業審議会  
会長 日詰 一幸 様

富士市長 小長井 義正

### 富士市敬老事業の改廃について（諮問）

富士市附属機関設置条例第 3 条の規定に基づき、次の事項を諮問いたします。

#### 1. 富士市敬老事業の改廃について

##### 趣 旨

本市の敬老事業は、現在、9月の敬老会の開催をはじめとし、敬老祝金、米寿祝品、100歳到達者の長寿祝金、最高齢者に対する祝品の贈呈を行っております。

近年の福祉ニーズの多様化などにより、敬老事業全体の見直しを行う必要性が生じていたため、平成20年度に「敬老事業あり方検討委員会」を設置いたしました。検討委員会では、少子高齢化の進行や社会経済状況、個人の価値観・考え方の変化を踏まえ、敬老事業のあり方を検討することとし、4年ごと、敬老事業の見直しを図ってきましたが、事業の本質的な課題の解決には至りませんでした。

今後、団塊の世代が敬老事業対象者となり、急激に対象者人数の増加が予測されている中で、主催者である市、町内会(区)及び社会福祉協議会の費用負担並びに企画・運営者の負担が大きくなることが懸念されております。

このような状況下において、「敬老」の主旨を尊重し、事業を推進していくためには、敬老会及び敬老祝金支給事業等の抜本的な見直しが必要となります。

富士市敬老事業を市民ニーズ及び実情に合わせた事業とするため、敬老事業の改廃について貴審議会の意見を賜りたく、諮問いたします。



## 富士市敬老事業審議会 委員名簿

氏 名	所 属	備 考
◎日詰 一幸	静岡大学 人文社会科学部	学部長
○荻野 克雄	富士市町内会連合会	会 長
井出 哲夫	社会福祉法人 富士市社会福祉協議会	会 長
千葉 辰夫	富士市町内会連合会	副会長
内田 貴子	女性ネットワーク・富士	会 長
望月 美佐子	原田地区女性の会	会 長
藤田 若恵	大淵地区婦人会	会 長
小泉 美津江	富士市民生委員・児童委員協議会	副会長
石川 武	富士市悠容クラブ連合会	会 長
稲葉 久利	富士市地区福祉推進会連絡会	副会長
渡辺 真一桜	富士商工会議所	
中山 早由里	富士市PTA連絡協議会	
高見 洋子	公募委員	
内野 浩恵	公募委員	
遠藤 礼朗	公募委員	

※順不同

※◎は会長、○は副会長



## 富士市敬老事業審議会 開催経過

回数	開催日・会場	検討内容
第1回	令和元年8月6日(火) 13時30分～15時00分 市庁舎10階 全員協議会室	委嘱状交付 敬老事業のあり方検討の背景と経過 敬老事業の現状について 敬老事業の課題について アンケート質問項目について
第2回	令和2年3月25日(水) 9時30分～11時30分 市庁舎8階 政策会議室	アンケート調査等の報告 敬老会についての審議
第3回	令和2年6月22日(月) 13時30分～15時00分 富士市消防防災庁舎3階 作戦指令室兼会議室	第2回敬老事業審議会の振り返り 敬老事業についての審議 (敬老会、敬老祝金、米寿記念品、 100歳祝、最高齢者祝)
第4回	令和2年7月29日(水) 10時30分～11時30分 富士市消防防災庁舎3階 作戦指令室兼会議室	敬老事業についての審議 (米寿記念品、100歳祝、最高齢者祝) 今後の敬老事業についての意見まとめ
第5回	令和2年8月26日(水) 13時30分～15時00分 市庁舎10階 全員協議会室	100歳祝事業についての審議 答申(案)について
第6回	令和2年9月24日(木) 10時00分～11時30分 富士市消防防災庁舎3階 作戦指令室兼会議室	答申(案)について





令和元年度

---

敬老事業市民意識調査

---

報 告 書

富士市 福祉こども部 福祉総務課



# 目次

<b>I 調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査期間	3
4. 調査方法	3
5. 回収結果	3
6. 調査結果の表示方法	3
<b>II 調査結果</b>	<b>5</b>
<b>回答者属性</b>	<b>7</b>
性別	7
年齢	7
居住地	8
職業	8
富士市（旧富士川町を含む）居住年数	9
家族構成	10
本人含め 77 歳以上の家族	11
<b>1. 富士市の敬老事業全体について</b>	<b>12</b>
問 1 敬老事業の認知状況	12
問 2 高齢者との関わり	18
問 3 敬老事業との関わり	19
<b>2. 富士市の敬老事業の参加について</b>	<b>20</b>
問 4 敬老会の対象年齢か	20
問 5 敬老事業の参加状況	21
問 6-1 敬老会の参加理由	22
問 6-2 敬老会の運営に関する要望	23
問 7-1 敬老会に出席しない理由	24
問 7-2 参加しようと思える敬老会	25
問 8-1 将来の敬老会への出席意向	26
問 8-2 将来、参加しようと思う敬老会	27

<b>3. 今後の富士市の敬老事業のあり方について</b> -----	28
問 9 今後の敬老会のあり方に関する考え -----	28
問 10 敬老会の対象年齢に関する考え -----	29
問 11 敬老会の開催方法に関する考え -----	30
問 12 敬老祝金支給事業に関する考え -----	31
問 13 米寿記念品支給事業に関する考え -----	32
問 14 100 歳長寿祝に関する考え -----	33
問 15 最高齢者長寿祝に関する考え -----	34
問 16 魅力的な敬老会 -----	35
問 17 敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業 -----	37

## **付録 調査票**

# I 調査の概要



## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、敬老事業全体の見直しにあたり、市民の意見などを伺い、今後の敬老事業の在り方についての検討の基礎資料とすることを目的として実施した。

### 2 調査対象

富士市在住の満 18 歳以上の方を無作為抽出

### 3 調査期間

令和元年 9 月 26 日から令和元年 10 月 18 日

### 4 調査方法

配布に関して: 郵送(インターネット回答もできるよう回答用 QR コード添付)

回収に関して: 郵送とインターネット

### 5 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000 票	1,604 票	53.0%

### 6 調査結果の表示方法

○調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

○複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。

○図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は、回答比率(%)である。

○選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いている。





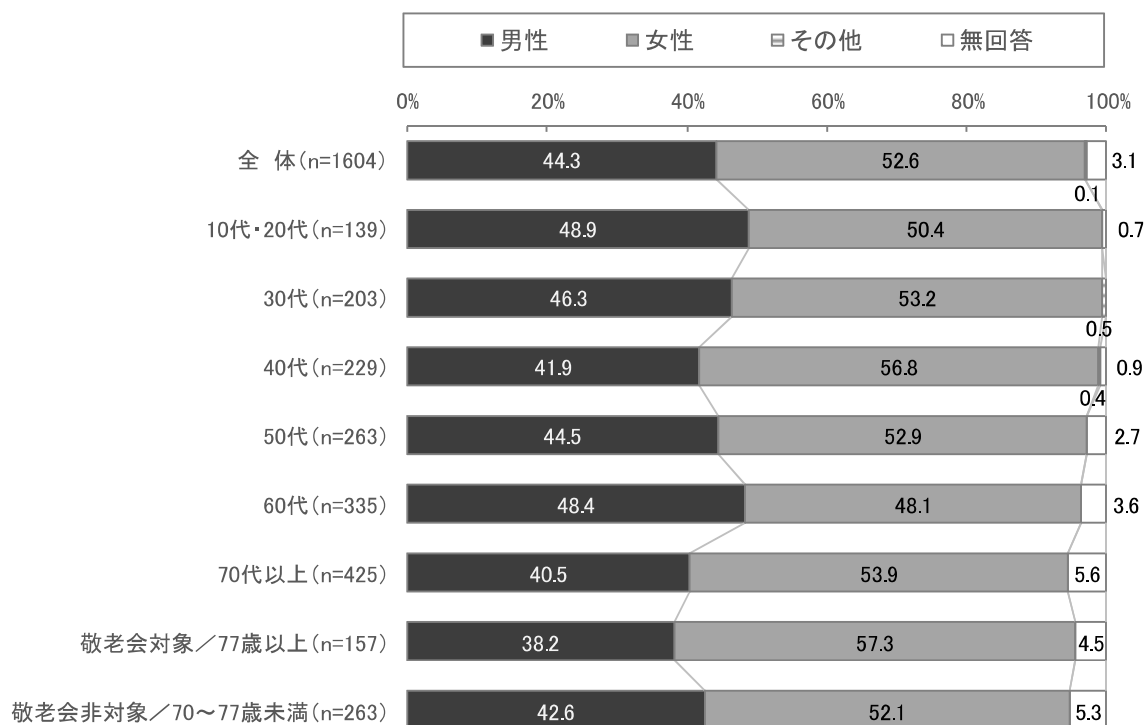
## II 調査結果



## II 調査結果

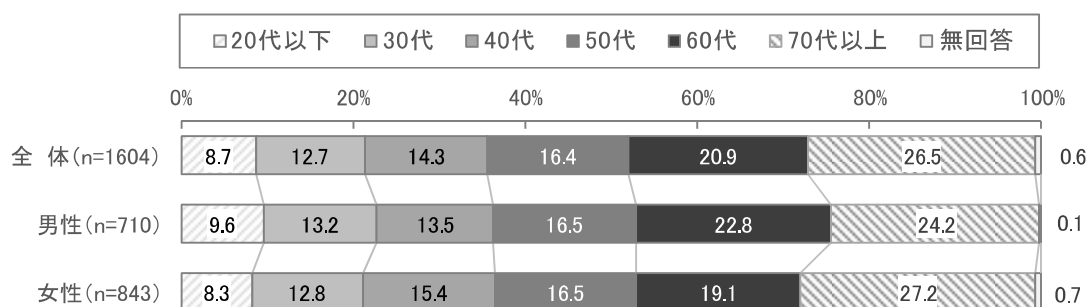
### 回答者属性

#### 【性別】



全体で見ると、男性 44.3%、女性 52.6%と女性が過半数を占めている。

#### 【年齢】



全体で見ると、70代以上が 26.5%で最も高く、次いで 60代 20.9%、50代 16.4%と年代が上がるごとに割合が高くなっている。

【居住地】

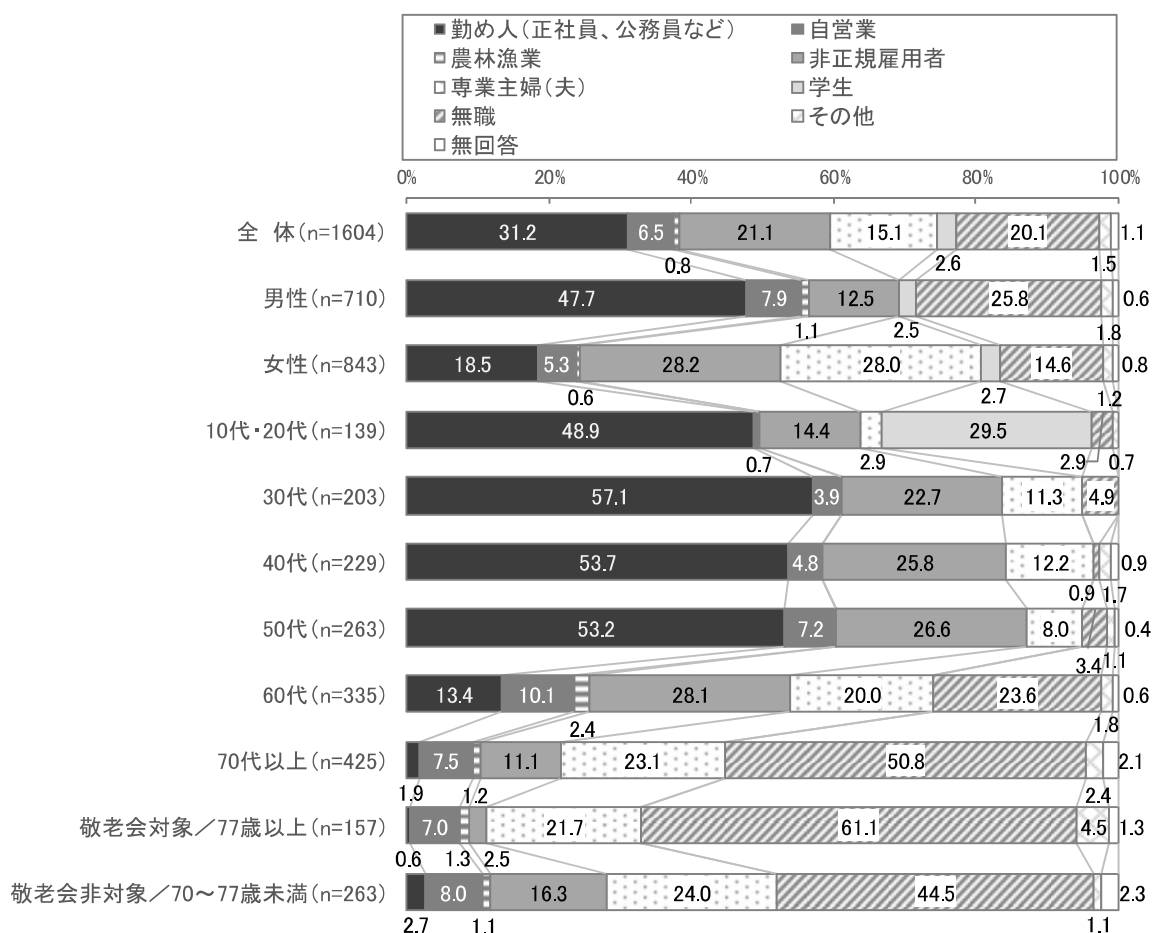
	(n=)	吉原	伝法	今泉	広見	元吉原	須津	浮島	吉永	原田	大淵	富士駅北	富士北	富士駅南	富士南
全体	1604	4.4	5.7	5.1	5.3	2.8	2.7	0.7	2.1	1.6	6.2	3.5	4.5	5.7	7.5
男性	710	5.1	4.6	6.1	4.6	2.1	2.5	0.7	2.5	1.7	6.9	4.5	3.5	6.1	8.0
女性	843	4.0	6.6	4.4	5.6	3.1	3.1	0.7	1.9	1.7	5.6	2.7	5.0	5.7	7.4

	(n=)	田子浦	岩松	鷹岡	丘	富士見台	神戸	天間	青葉台	吉永北	岩松北	富士川	松野	わからない	無回答
全体	1604	6.2	4.7	6.0	5.1	1.9	1.8	2.8	2.4	0.7	2.2	2.6	3.3	1.5	0.6
男性	710	6.5	4.4	4.9	5.5	1.8	1.7	2.4	2.5	0.8	2.1	3.2	3.1	1.8	0.1
女性	843	6.2	4.6	6.9	4.7	2.0	2.0	3.2	2.4	0.7	2.3	2.1	3.4	1.3	0.7

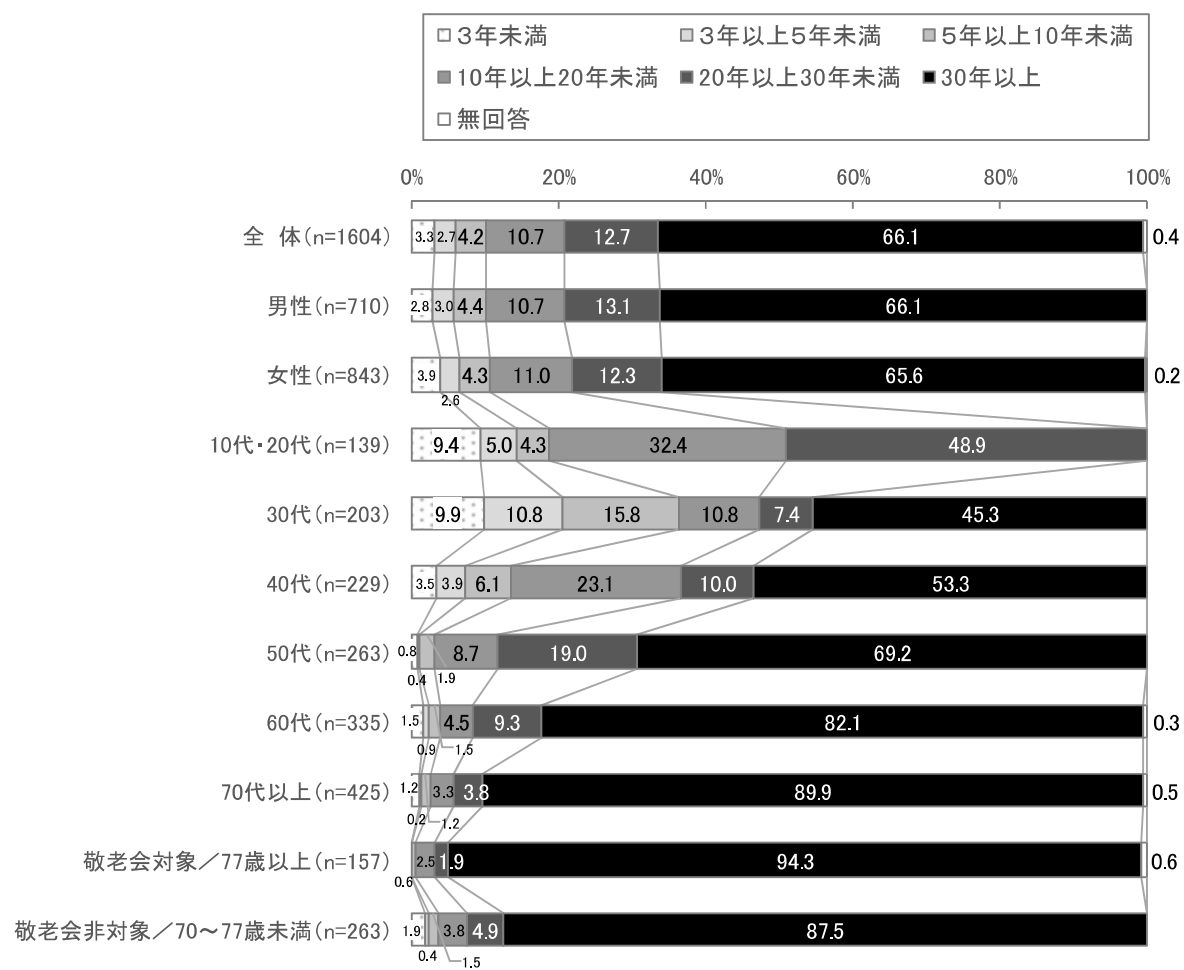
全体で見ると、「富士南」が7.5%で最も高く、次いで「大淵」と「田子浦」が6.2%、「鷹岡」6.0%の順となっている。

【職業】



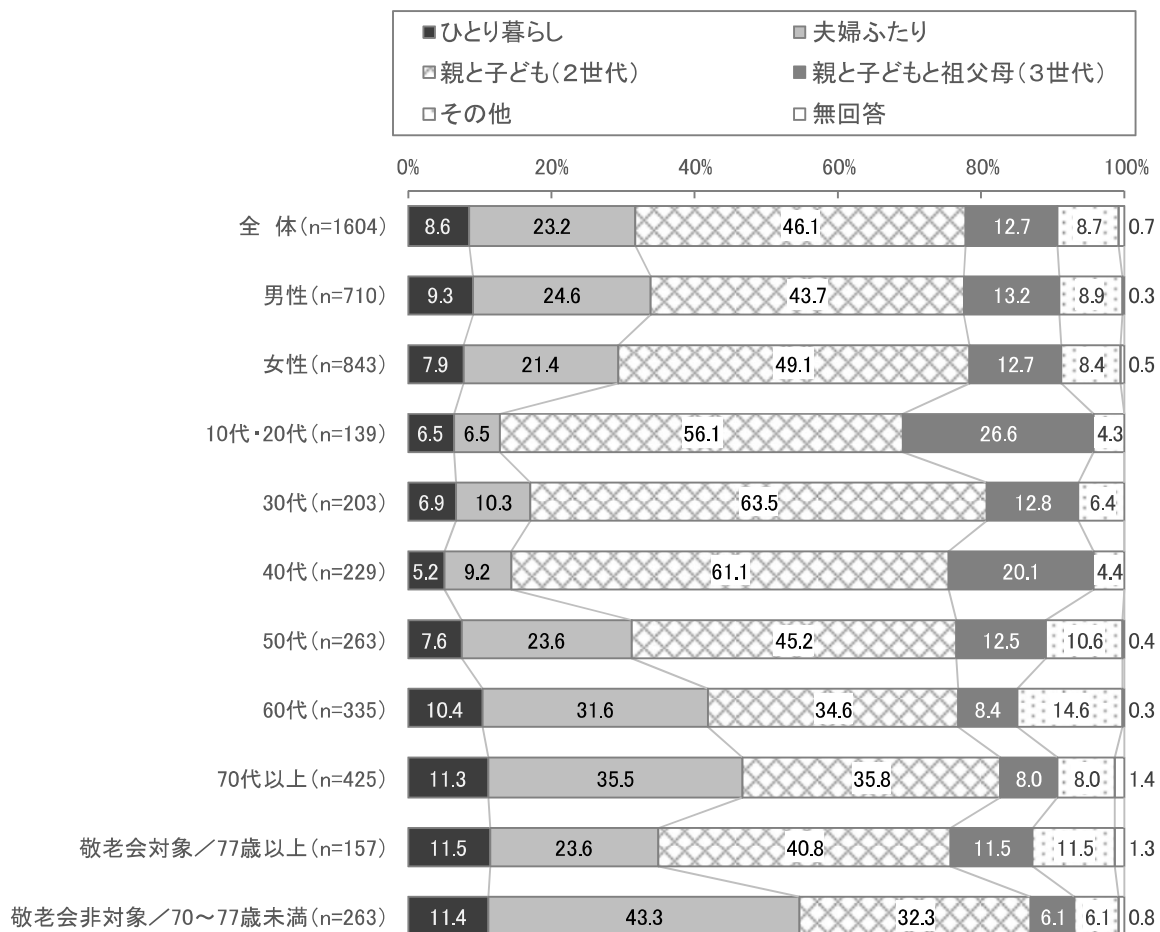
全体で見ると、「勤め人(正社員、公務員など)」が31.2%で最も高く、次いで「非正規雇用者」21.1%、「無職」20.1%の順となっている。

【富士市（旧富士川町を含む）居住年数】



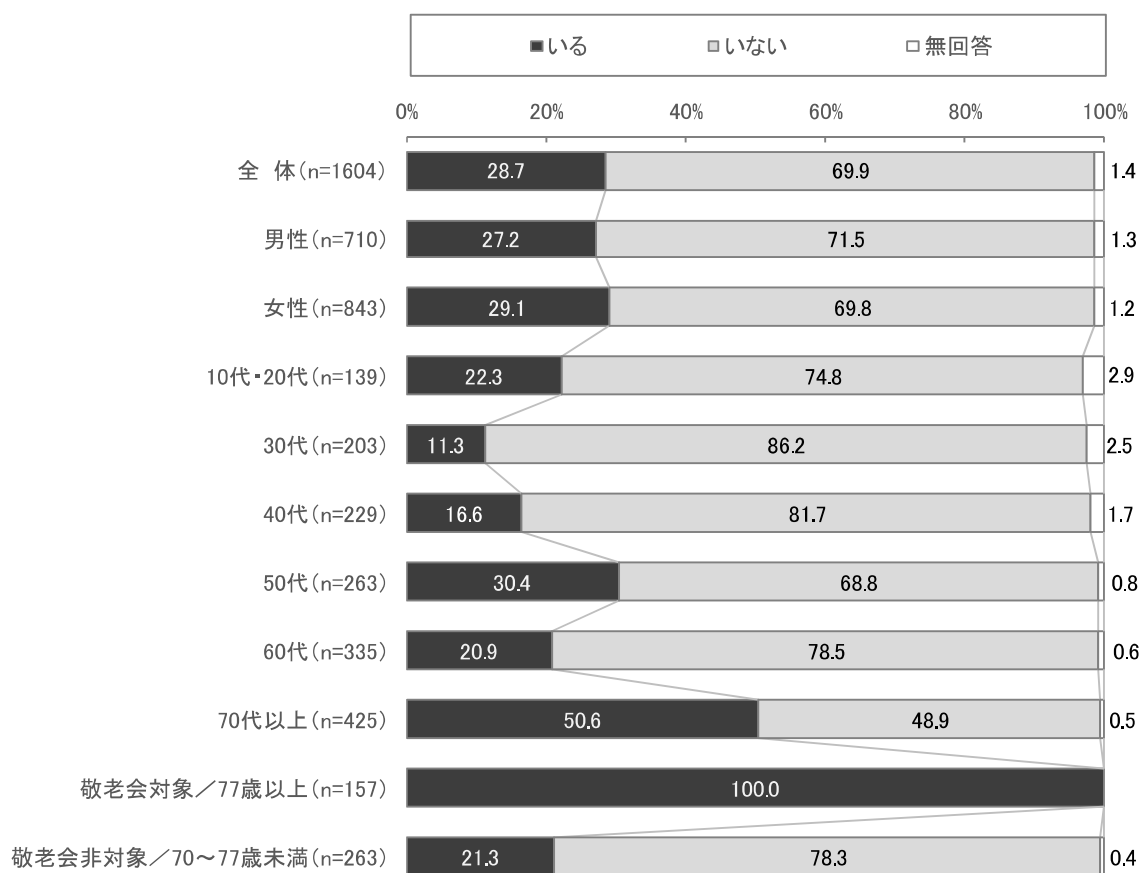
全体で見ると、「30年以上」が66.1%で最も高く、次いで「20年以上30年未満」12.7%、「10年以上20年未満」10.7%の順となっている。

【家族構成】



全体で見ると、「親と子ども(2世代)」が46.1%で最も高く、次いで「夫婦ふたり」23.2%、「親と子どもと祖父母(3世代)」12.7%の順となっている。

【本人含め 77 歳以上の家族】



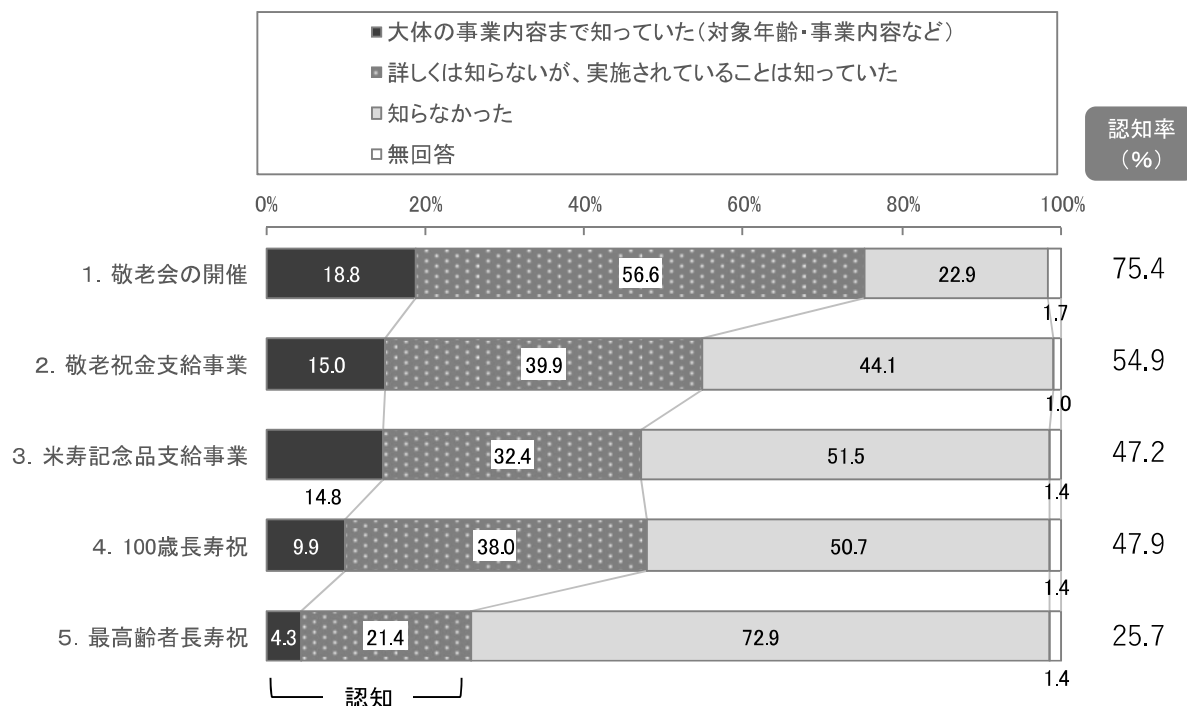
全体で見ると、「いる」が 28.7%、「いない」が 69.9%で「いない」がおよそ 7 割を占めている。

## 1. 富士市の敬老事業全体について

### (1) 敬老事業の認知状況

問1 富士市では、高齢者を敬愛し長寿を祝うためや地域での交流をはかるために、77歳以上の方を対象に、下記のような敬老事業を実施しています。  
あなたは、次にあげる富士市の敬老事業について、どの程度知っていますか。  
(項目ごとに○は1つずつ)

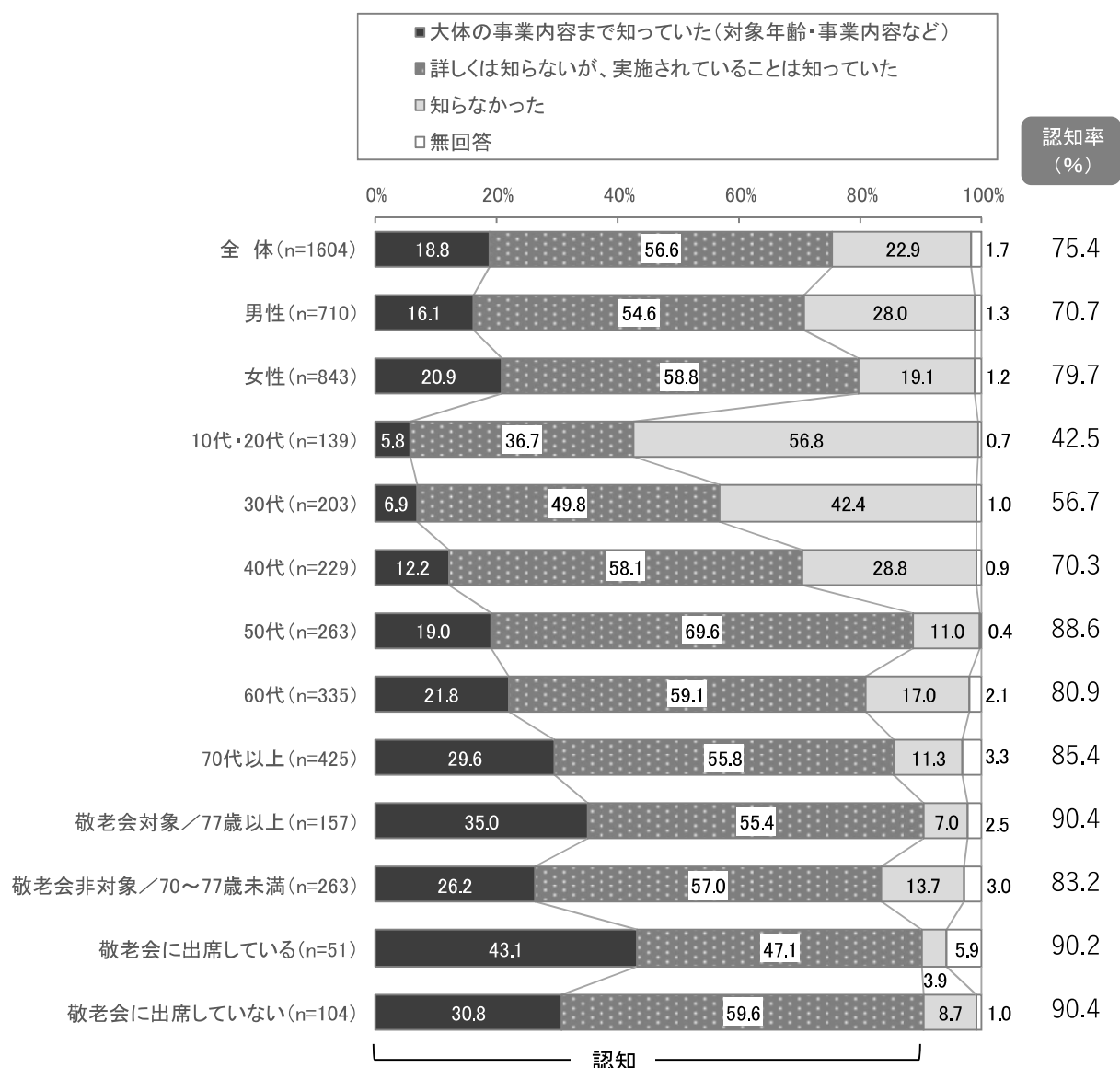
全体(n=1604)



敬老事業の認知状況について、全体で見ると、「大体の事業内容まで知っていた(対象年齢・事業内容など)」と「詳しくは知らないが、実施されていることは知っていた」の2つを合わせた「認知率」は、「1. 敬老会の開催」が75.4%で最も高く、次いで「2. 敬老祝金支給事業」54.9%、「4. 100歳長寿祝を贈呈」47.9%の順となっている。



【1. 敬老会の開催（77歳以上が対象）】



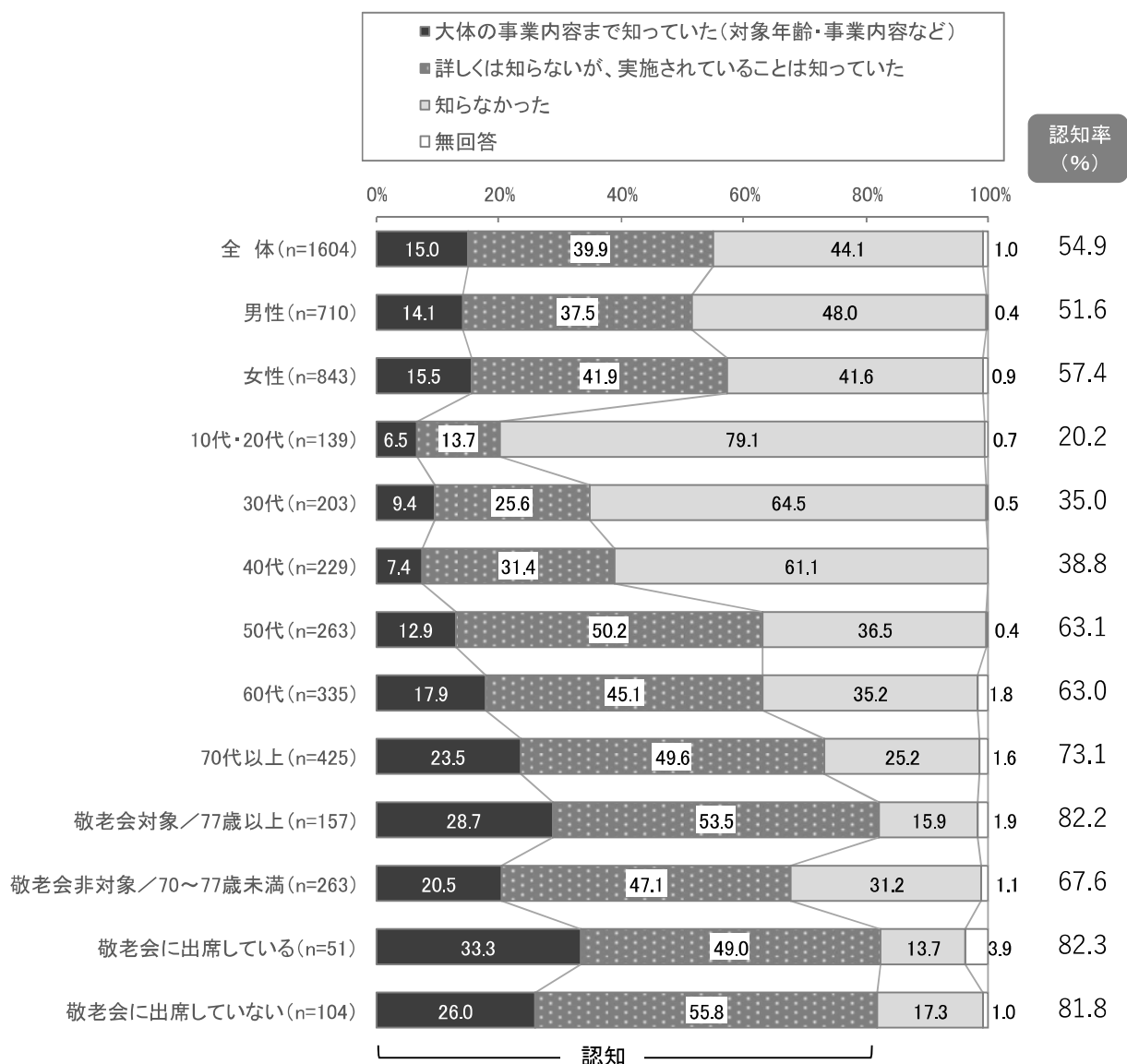
敬老会の開催に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は75.4%で7割以上となっている。男女別にみると、「認知率」は男性70.7%、女性79.7%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は50代が88.6%と最も高い。また、50代以上から「認知率」が8割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者で90.4%とおおよそ9割が認知しており、非常に高い割合となっている。なお、非対象者でも「認知率」は83.2%と高い割合となっている。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者も非出席者もおおよそ9割となっている。

【2. 敬老祝金支給事業（77歳、80歳、90歳、99歳に5,000円を贈呈）】



敬老祝金支給事業に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は54.9%となっている。

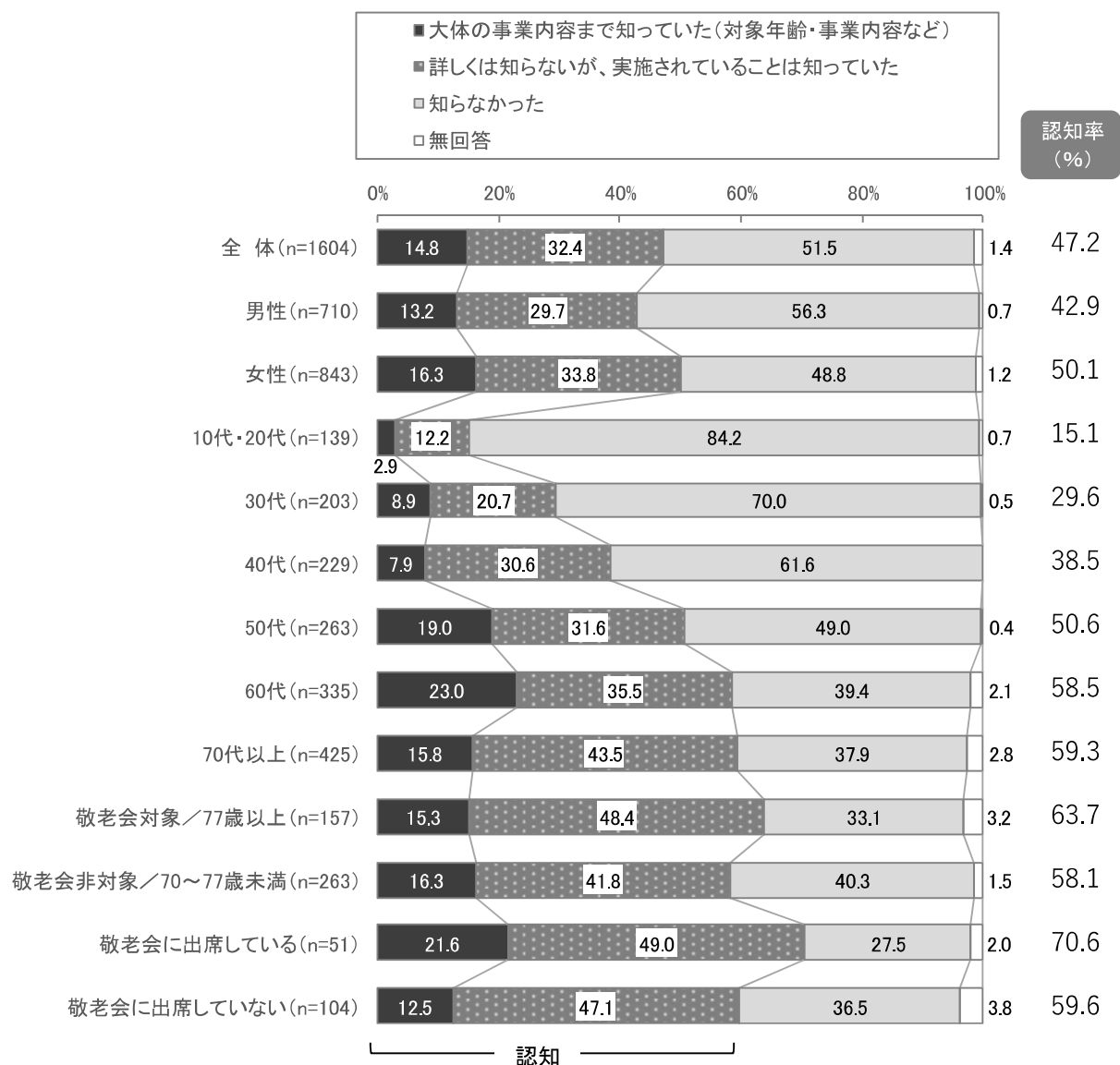
男女別にみると、「認知率」は男性51.6%、女性57.4%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は70代以上が73.1%と最も高い。また、50代以上から「認知率」が6割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者が82.2%、非対象者が67.6%と、対象者のほうが「認知率」が高い。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者も非出席者も8割以上となっている。

【3. 米寿記念品支給事業（88歳）（肖像写真・大座布団・地場産品の詰合せから1品選択したものを贈呈）】



米寿記念品支給事業に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は47.2%となっている。

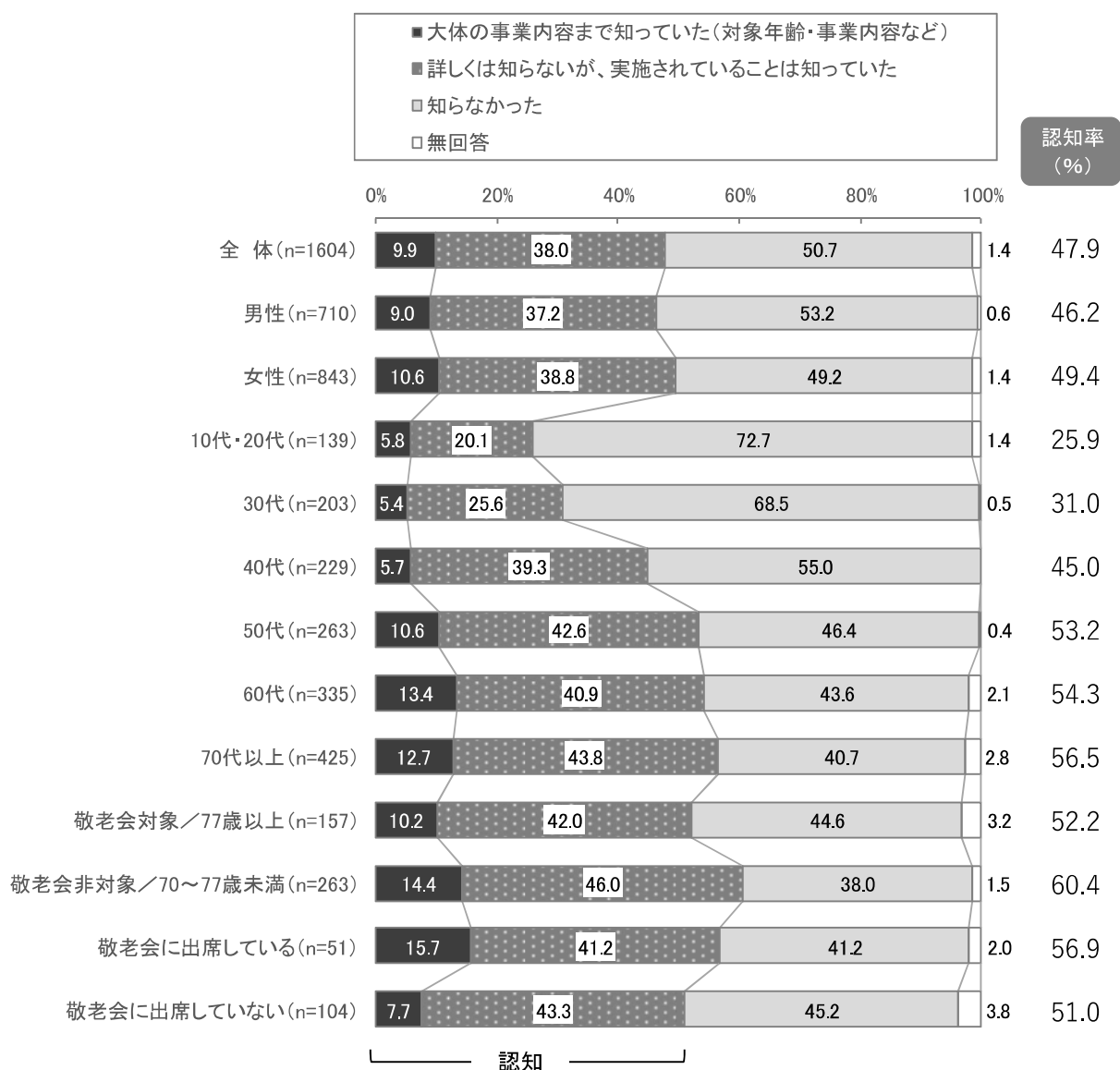
男女別にみると、「認知率」は男性42.9%、女性50.1%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は70代以上が59.3%と最も高い。また、年代が高くなるにつれて「認知率」も高くなっている。なお、50代以上から「認知率」が5割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者が63.7%で、非対象者が58.1%と、対象者のほうが「認知率」が高い。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者が70.6%、非出席者が59.6%で、出席者のほうが高い。

【4. 100歳長寿祝（10万円、花束、賀詞を贈呈）】



100歳長寿祝に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は47.9%となっている。

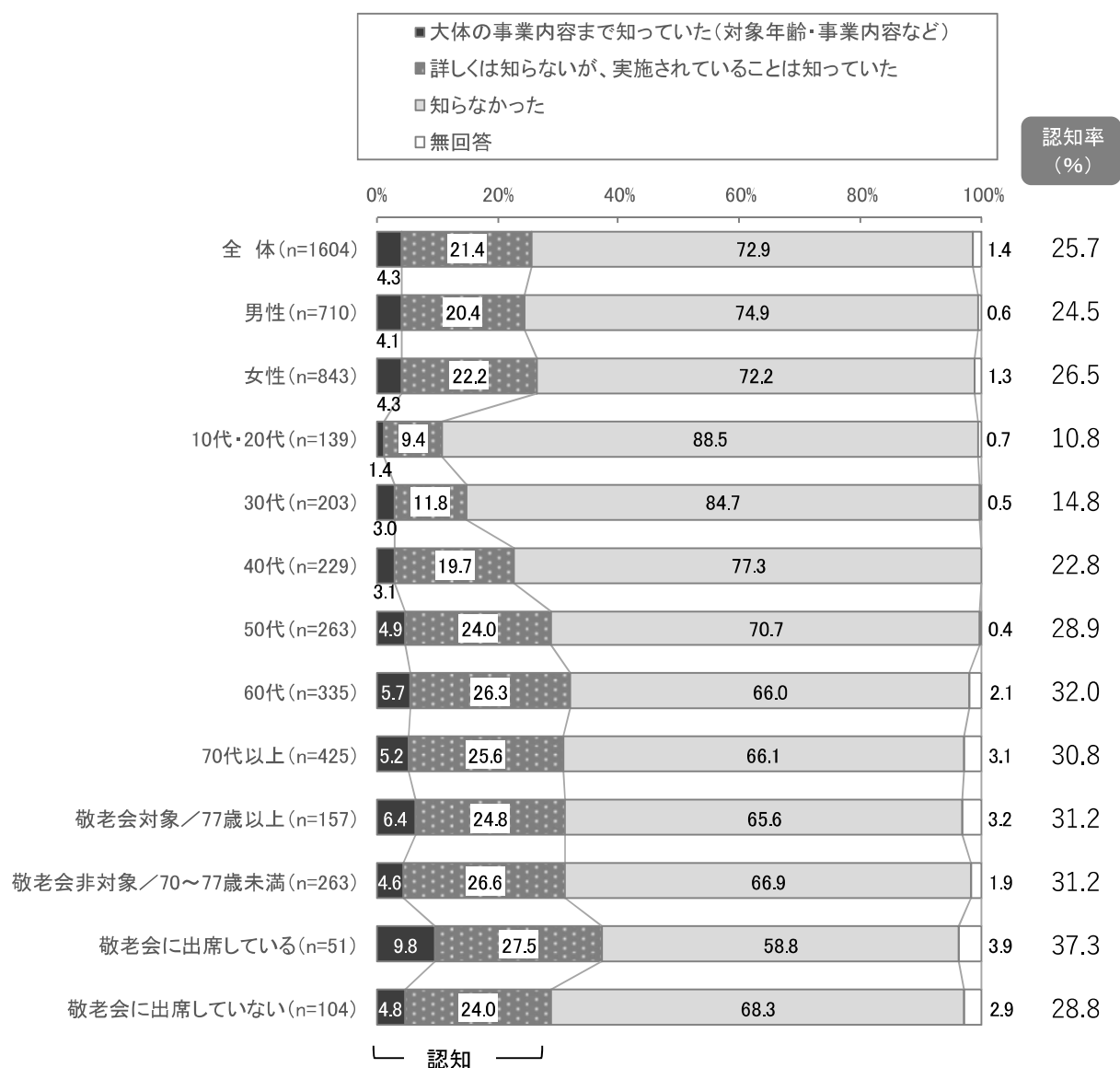
男女別にみると、「認知率」は男性46.2%、女性49.4%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は70代以上が56.5%と最も高い。また、年代が高くなるにつれて「認知率」も高くなっている。なお、50代以上から「認知率」が5割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者が52.2%で、非対象者が60.4%と、非対象者のほうが「認知率」が高い。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者が56.9%、非出席者が51.0%で、出席者のほうが高い。

【5. 最高齢者長寿祝（1万5,000円以内の記念品、花束を贈呈）】

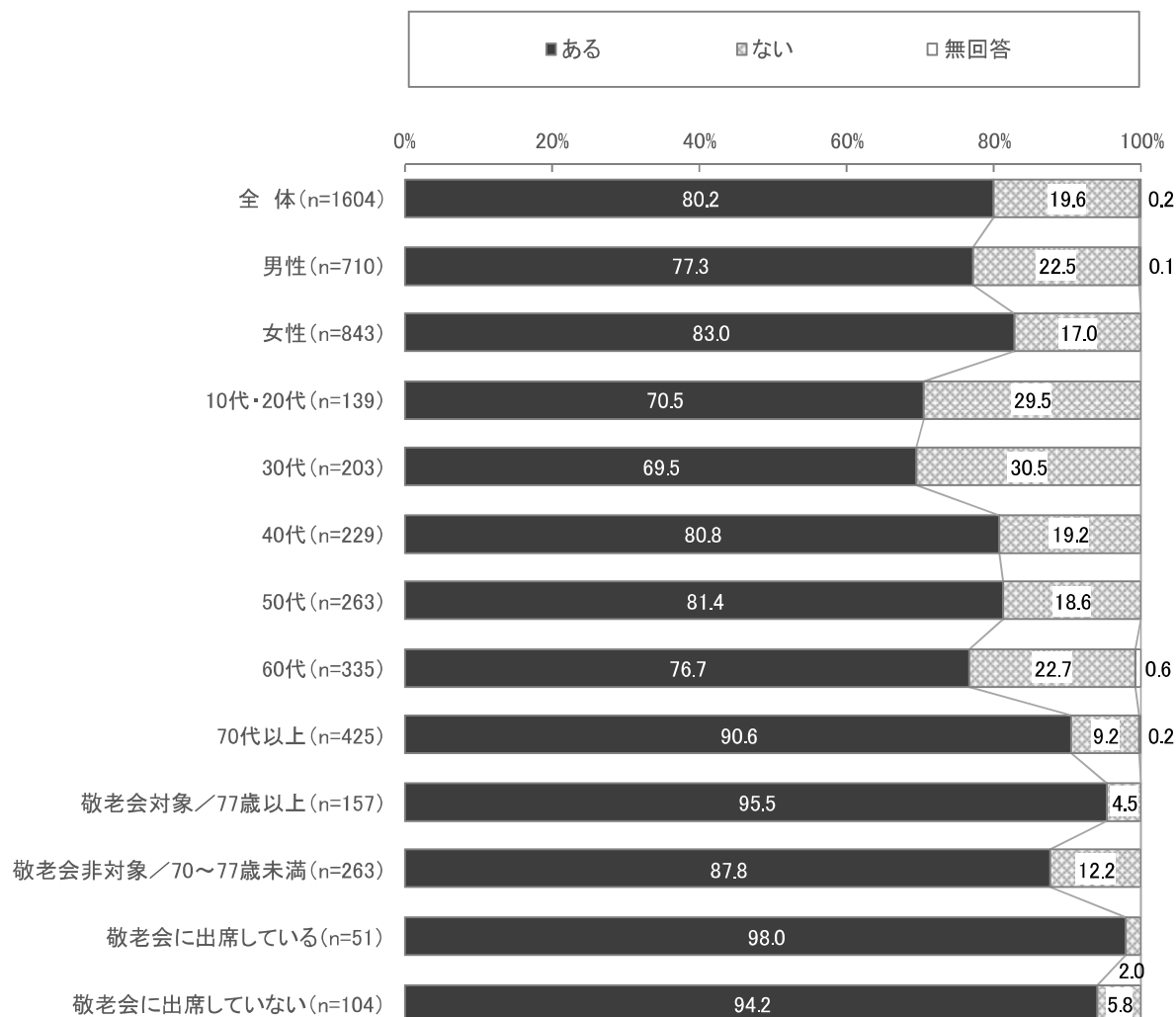


最高齢者長寿祝に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は25.7%となっている。男女別にみると、「認知率」は男性24.5%、女性26.5%と女性のほうが高い。年代別にみると、「認知率」は60代が32.0%と最も高い。また、60代以上から「認知率」が3割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者・非対象者ともに31.2%となっている。敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者が37.3%、非出席者が28.8%と、出席者のほうが高い。

(2) 高齢者との関わり

問2 あなたは、日頃、65歳以上の家族や地域の高齢者と関わる機会がありますか。  
(○は1つ)



高齢者との関わりについて、全体で見ると、「ある」80.2%、「ない」19.6%となっている。

男女別にみると、「ある」は男性 77.3%、女性 83.0%と女性のほうが高い。

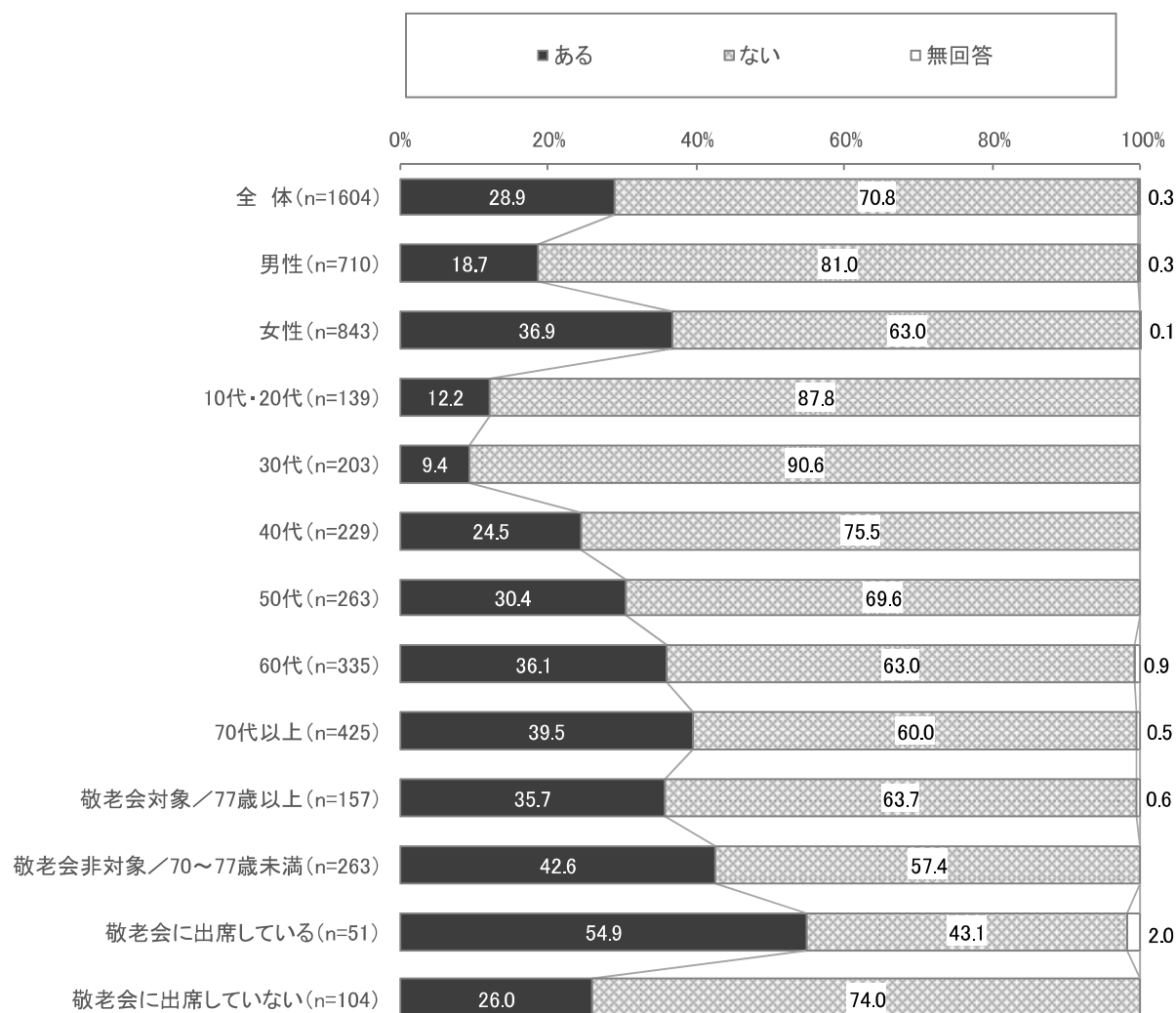
年代別にみると、「ある」は 70 代以上で 90.6%と最も高い。また、「ある」は 40 代、50 代で 8 割を超えている。

敬老会対象別にみると、「ある」は対象者が 95.5%で、非対象者が 87.8%と、対象者のほうが「ある」の割合が高い。

敬老会の出席者別にみると、「ある」は出席者が 98.0%、非出席者が 94.2%と、どちらも 9 割以上と非常に高い割合となっている。

(3) 敬老事業との関わり

問3 あなたは、これまでに敬老会や敬老に関する催しものの準備や運営に関わったことがありますか。(○は1つ)



敬老事業との関わりについて、全体で見ると、「ある」28.9%、「ない」70.8%となっている。

男女別にみると、「ある」は男性 18.7%、女性 36.9%と女性のほうが高く、男性の2倍近い。

年代別にみると、「ある」は70代以上で39.5%と最も高い。また、「ある」は50代以上から3割以上の割合となっている。

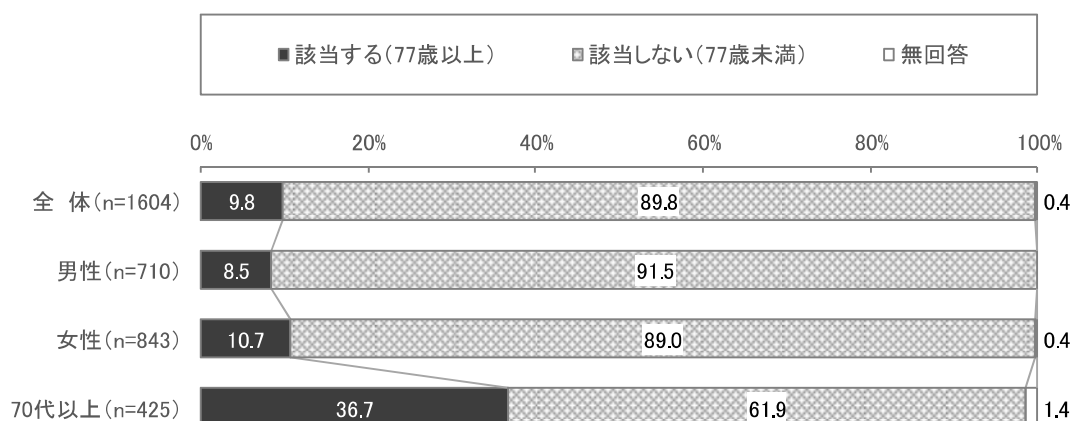
敬老会対象別にみると、「ある」は対象者が35.7%、非対象者が42.6%と、非対象者のほうが「ある」の割合が高い。

敬老会の出席者別にみると、「ある」は出席者が54.9%、未出席者が26.0%と、出席者は5割以上と過半数を占めている。

## 2. 富士市の敬老事業の参加について

### (1) 敬老会の対象年齢か

問4 あなたは、富士市の敬老会対象年齢（77歳以上）に該当されますか。（○は1つ）



敬老会の対象年齢に該当するかについて、全体で見ると、「該当する」9.8%、「該当しない」89.8%となっており、9割近くが「該当しない」という結果となっている。

男女別にみると、「該当する」は男性 8.5%、女性 10.7%と女性のほうが高い。

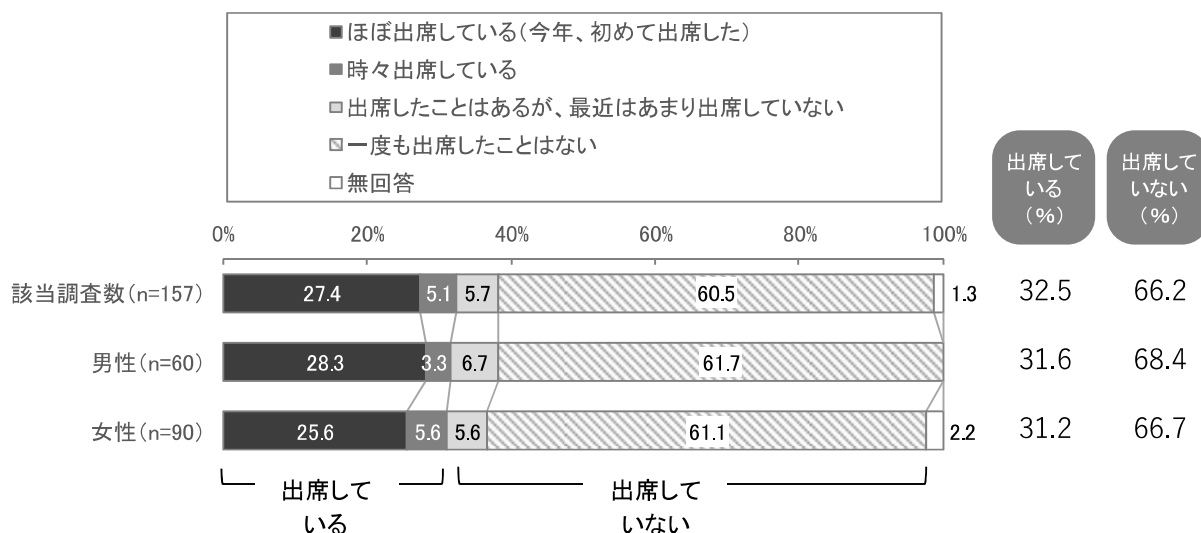
70代以上の年代で見ると、「該当する」36.7%、「該当しない」61.9%となっている。



(2) 敬老事業の参加状況

問5 あなたは、敬老会に出席していますか。(○は1つ)

※問4 富士市の敬老会対象年齢に該当するかについて、「該当する(77歳以上)」と回答した人



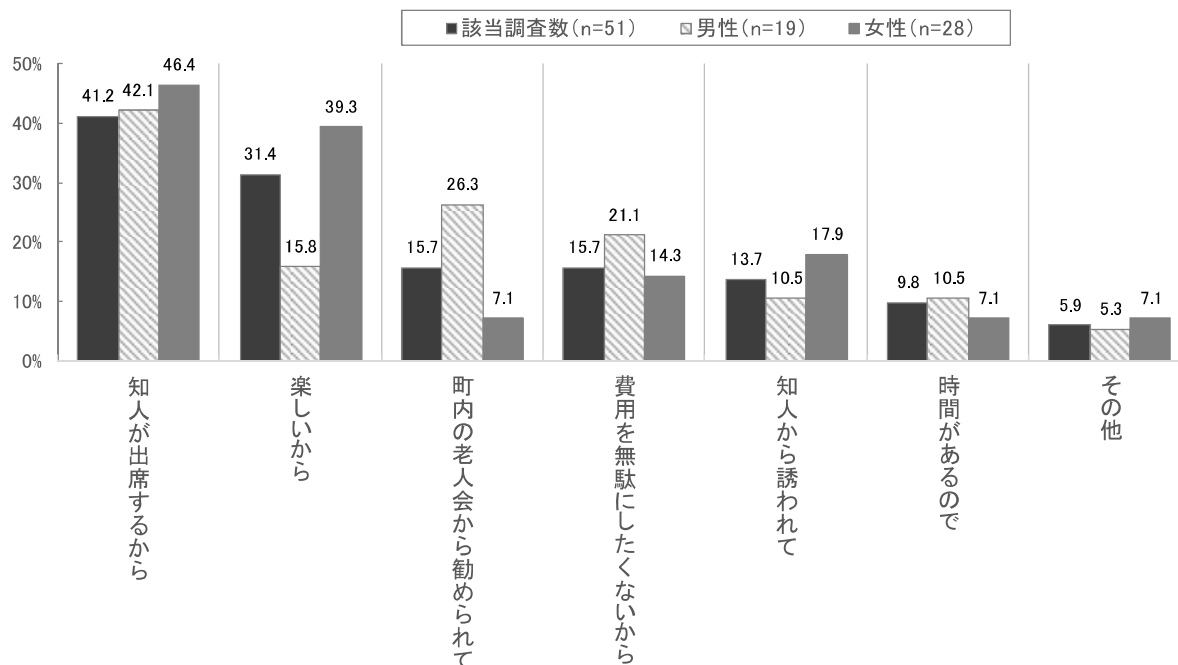
敬老事業の参加状況について、全体で見ると、「ほぼ出席している(今年、初めて出席した)」と「時々出席している」の2つを合わせた「出席している」は、32.5%となっている。

男女別にみると、「出席している」は男性 31.6%、女性 31.2%と男性のほうがわずかに高い。

(3) 敬老会の参加理由

問6-1 敬老会に出席している理由を教えてください。(〇はいくつでも)

※問5 敬老会への出席について、「ほぼ出席している(今年、初めて出席した)」「時々出席している」と回答した人



	(n=)	知人が出席するから	楽しいから	町内の老人会から勧められて	費用を無駄にしないから	知人から誘われて	時間があるので	その他	無回答
該当調査数	51	41.2	31.4	15.7	15.7	13.7	9.8	5.9	5.9
男性	19	42.1	15.8	26.3	21.1	10.5	10.5	5.3	-
女性	28	46.4	39.3	7.1	14.3	17.9	7.1	7.1	10.7

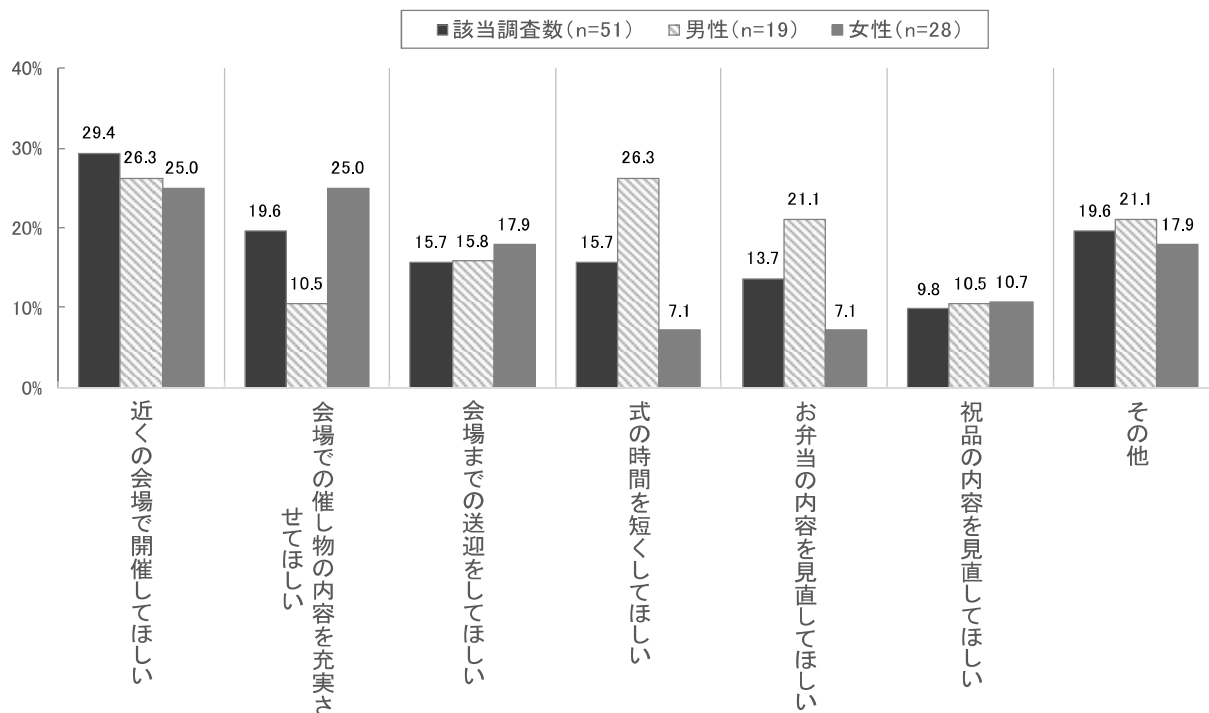
敬老会の参加理由について、全体で見ると、「知人が出席するから」が41.2%と最も高く、次いで「楽しいから」31.4%、「町内の老人会から勧められて」と「費用を無駄にしないから」15.7%の順となっている。

男女別にみても、「知人が出席するから」が男女ともに最も高い。なお、女性では「楽しいから」がおおよそ4割となっている。

(4) 敬老会の運営に関する要望

問6-2 今後の敬老会の運営について、ご要望がありましたら、教えてください。  
(〇はいくつでも)

※問5 敬老会への出席について、「ほぼ出席している(今年、初めて出席した)」「時々出席している」と回答した人



(%)

	(n=)	近くの会場で開催してほしい	会場での催し物の内容を充実させてほしい	会場までの送迎をしてほしい	式の時間を短くしてほしい	お弁当の内容を見直してほしい	祝品の内容を見直してほしい	その他	無回答
該当調査数	51	29.4	19.6	15.7	15.7	13.7	9.8	19.6	11.8
男性	19	26.3	10.5	15.8	26.3	21.1	10.5	21.1	-
女性	28	25.0	25.0	17.9	7.1	7.1	10.7	17.9	21.4

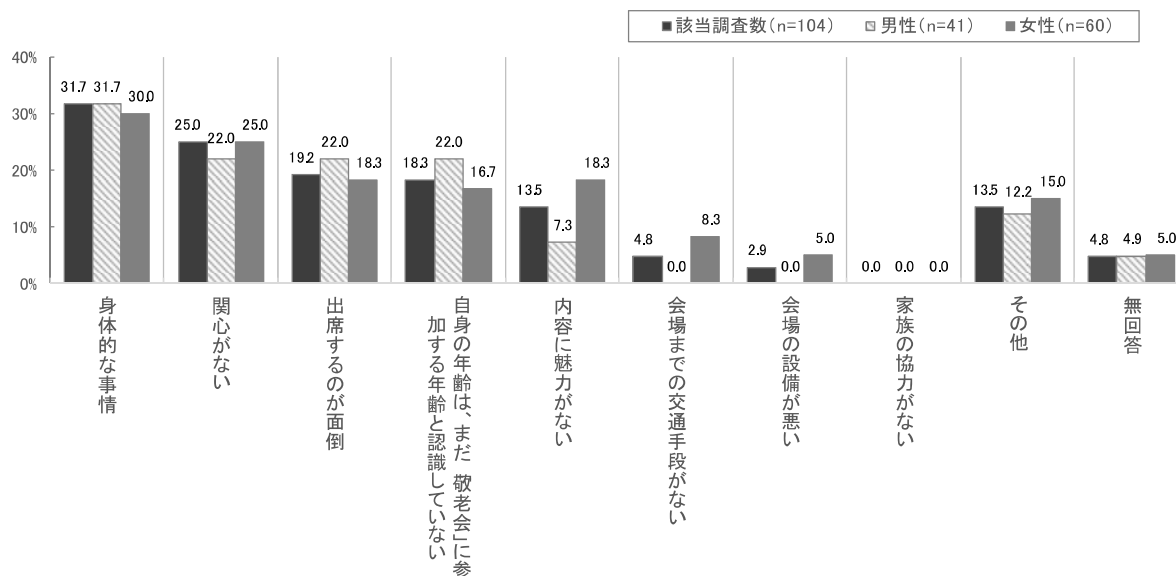
敬老会の運営に関する要望について、全体で見ると、「近くの会場で開催してほしい」が29.4%と最も高く、次いで「会場での催し物の内容を充実させてほしい」と「その他」19.6%、「会場までの送迎をしてほしい」と「式の時間を短くしてほしい」15.7%の順となっている。なお、「その他」に関しては「よくわからない」や「要望無し」といった意見が散見された。

男女別にみても、「近くの会場で開催してほしい」が男女ともに最も高い。なお、男性では「式の時間を短くしてほしい」、女性では「会場での催し物の内容を充実させてほしい」が、「近くの会場で開催してほしい」と同じ割合となっている。

(5) 敬老会に出席しない理由

問7-1 敬老会に出席されない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

※問5 敬老会への出席について、「出席したことはあるが、最近はあまり出席していない」「一度も出席したことはない」と回答した人



	(n=)	身体的な事情	関心がない	出席するのが面倒	自身の年齢は、まだ「敬老会」に参加する年齢と認識していない	内容に魅力がない	会場までの交通手段がない	会場の設備が悪い	家族の協力がいない	その他	無回答
該当調査数	104	31.7	25.0	19.2	18.3	13.5	4.8	2.9	-	13.5	4.8
男性	41	31.7	22.0	22.0	22.0	7.3	-	-	-	12.2	4.9
女性	60	30.0	25.0	18.3	16.7	18.3	8.3	5.0	-	15.0	5.0

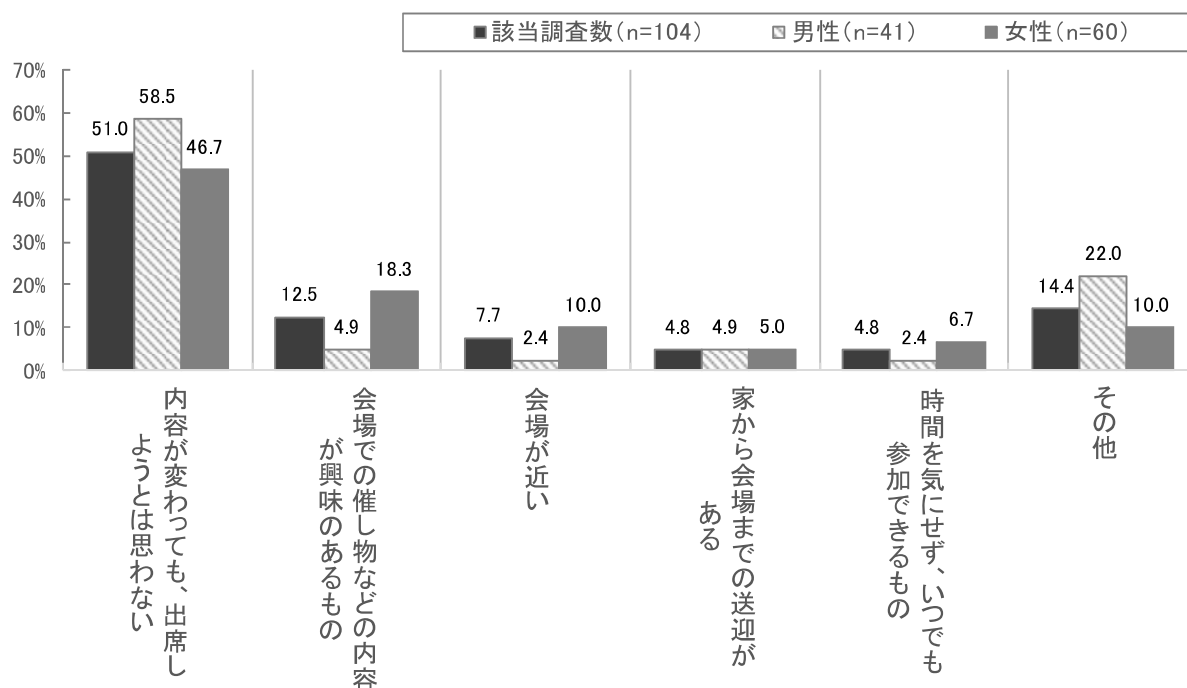
敬老会に出席しない理由について、全体で見ると、「身体的な事情」が31.7%と最も高く、次いで「関心がない」25.0%、「出席するのが面倒」19.2%の順となっている。

男女別にみても、「身体的な事情」が男女ともに最も高い。なお、男性では「関心がない」「出席するのが面倒」「自身の年齢は、まだ“敬老会”に参加する年齢と認識していない」が同じ割合となっている。

(6) 参加しようと思える敬老会

問7-2 どのような敬老会であれば、出席しようと思えますか。(〇はいくつでも)

※問5 敬老会への出席について、「出席したことはあるが、最近あまり出席していない」「一度も出席したことはない」と回答した人



(%)

	(n=)	内容が変わっても、出席しようとは思わない	会場での催し物などの内容が興味のあるもの	会場が近い	家から会場までの送迎がある	時間を気にせず、いつでも参加できるもの	その他	無回答
該当調査数	104	51.0	12.5	7.7	4.8	4.8	14.4	15.4
男性	41	58.5	4.9	2.4	4.9	2.4	22.0	9.8
女性	60	46.7	18.3	10.0	5.0	6.7	10.0	18.3

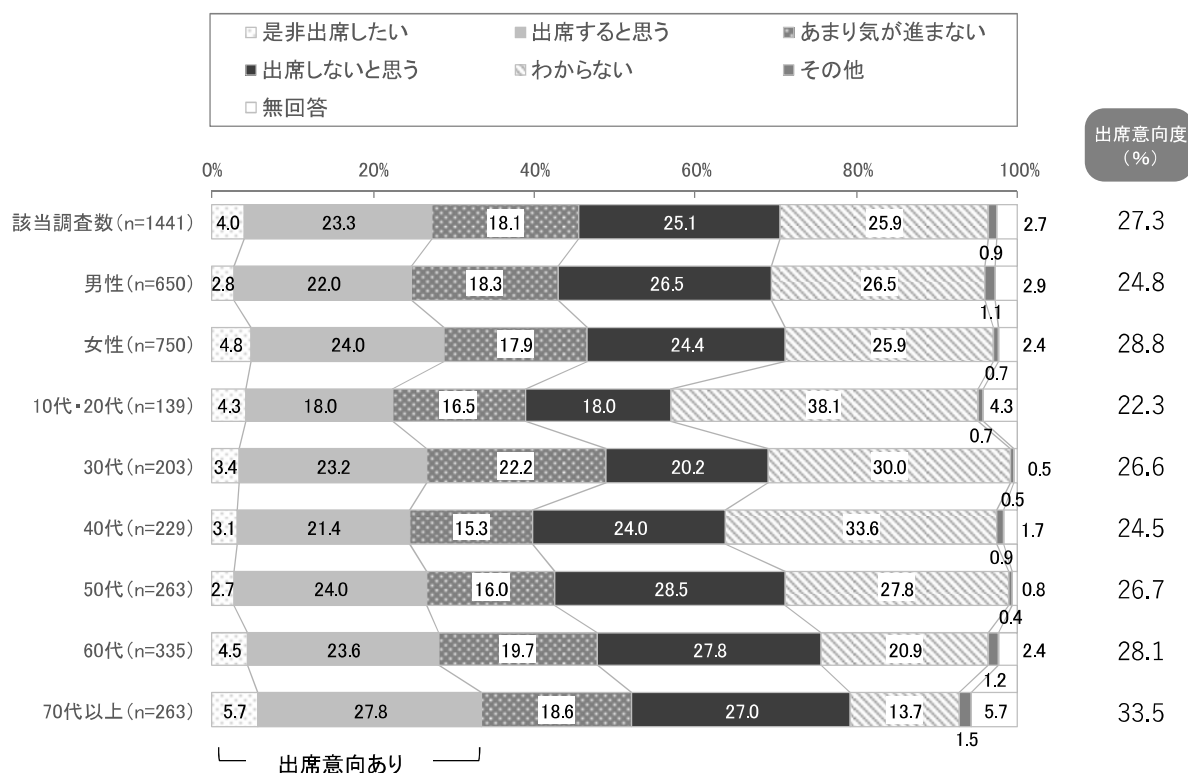
参加しようと思える敬老会について、全体で見ると、「内容が変わっても、出席しようとは思わない」が51.0%と最も高く、次いで「その他」14.4%、「会場での催し物などの内容が興味のあるもの」12.5%の順となっている。なお、「その他」では「あまり関心がない」という意見が散見された。

男女別にみても、「内容が変わっても、出席しようとは思わない」が男女ともに最も高く、特に男性では58.5%と6割近い。

(7) 将来の敬老会への出席意向

問 8-1 あなたは、将来、敬老会の対象年齢（77 歳以上）になったとき、敬老会に出席されますか。（〇は1つ）

※問 4 富士市の敬老会対象年齢に該当するかについて、「該当しない（77 歳未満）」と回答した人



将来の敬老会への出席意向について、全体で見ると、「是非出席したい」と「出席すると思う」の2つを合わせた「出席意向度」は、27.3%となっている。

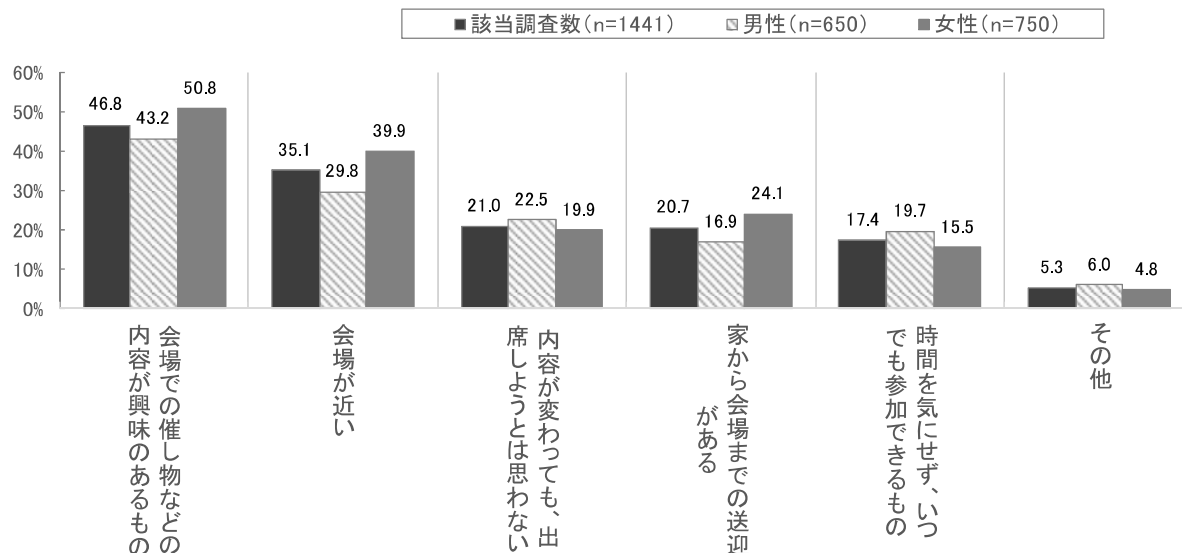
男女別にみると、「出席意向度」は男性 24.8%、女性 28.8%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「出席意向度」は 70 代以上で 33.5%と最も高く、次いで 60 代で 28.1%、50 代で 26.7%の順となっており、年代が高くなるにつれて出席意向度も高くなっている。

(8) 将来、参加しようと思う敬老会

問8-2 どのような敬老会であれば、出席しようと思いますか。(〇はいくつでも)

※問4 富士市の敬老会対象年齢に該当するかについて、「該当しない(77歳未満)」と回答した人



	(n=)	会場での催し物などの内容が興味のあるもの	会場が近い	内容が変わっても、出席しようとは思わない	家から会場までの送迎がある	時間を気にせず、いつでも参加できるもの	その他	無回答
該当調査数	1441	46.8	35.1	21.0	20.7	17.4	5.3	3.4
男性	650	43.2	29.8	22.5	16.9	19.7	6.0	4.0
女性	750	50.8	39.9	19.9	24.1	15.5	4.8	2.7
10代・20代	139	51.1	41.7	12.9	32.4	20.9	2.9	4.3
30代	203	57.6	34.5	15.3	24.1	20.7	4.9	1.5
40代	229	50.2	34.5	18.3	18.3	20.1	5.2	1.3
50代	263	47.5	38.8	23.6	22.1	16.7	4.9	1.5
60代	335	47.2	34.6	23.6	17.6	16.1	6.6	3.3
70代以上	263	32.3	30.0	26.2	17.1	12.9	5.3	8.0

将来、参加しようと思う敬老会について、全体で見ると、「会場での催し物などの内容が興味のあるもの」が46.8%で最も高く、次いで「会場が近い」35.1%、「内容が変わっても、出席しようとは思わない」21.0%の順となっている。

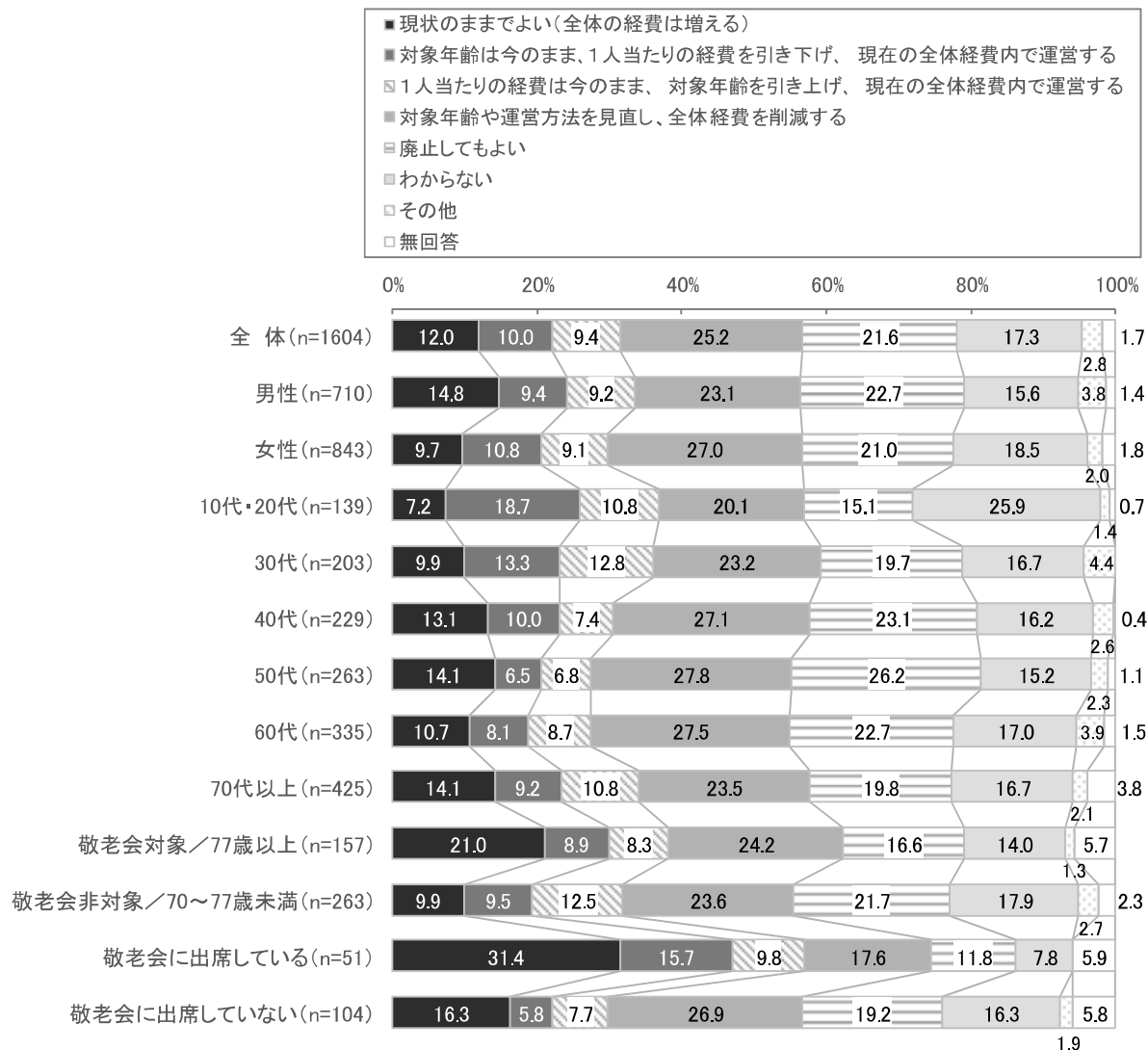
男女別にみても、「会場での催し物などの内容が興味のあるもの」が男女ともに最も高く、特に女性では50.8%と5割に及ぶ。

年代別にみても、「会場での催し物などの内容が興味のあるもの」が全ての年代で最も高く、特に30代では57.6%と6割近い。なお、年代が高くなるにつれて「内容が変わっても、出席しようとは思わない」の割合が高くなっている。

### 3. 今後の富士市の敬老事業のあり方について

(1) 今後の敬老会のあり方に関する考え

問9 今後の敬老会のあり方について、あなたのお考えをお答えください。(○は1つ)



今後の敬老会のあり方に関する考えについて、全体で見ると、「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が25.2%で最も高く、次いで「廃止してもよい」21.6%、「わからない」17.3%の順となっている。

男女別にみても、「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が男女ともに最も高い。

年代別にみても、10代・20代を除き、「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が全ての年代で最も高い。なお、10代・20代では、「わからない」が25.9%で最も高くなっている。

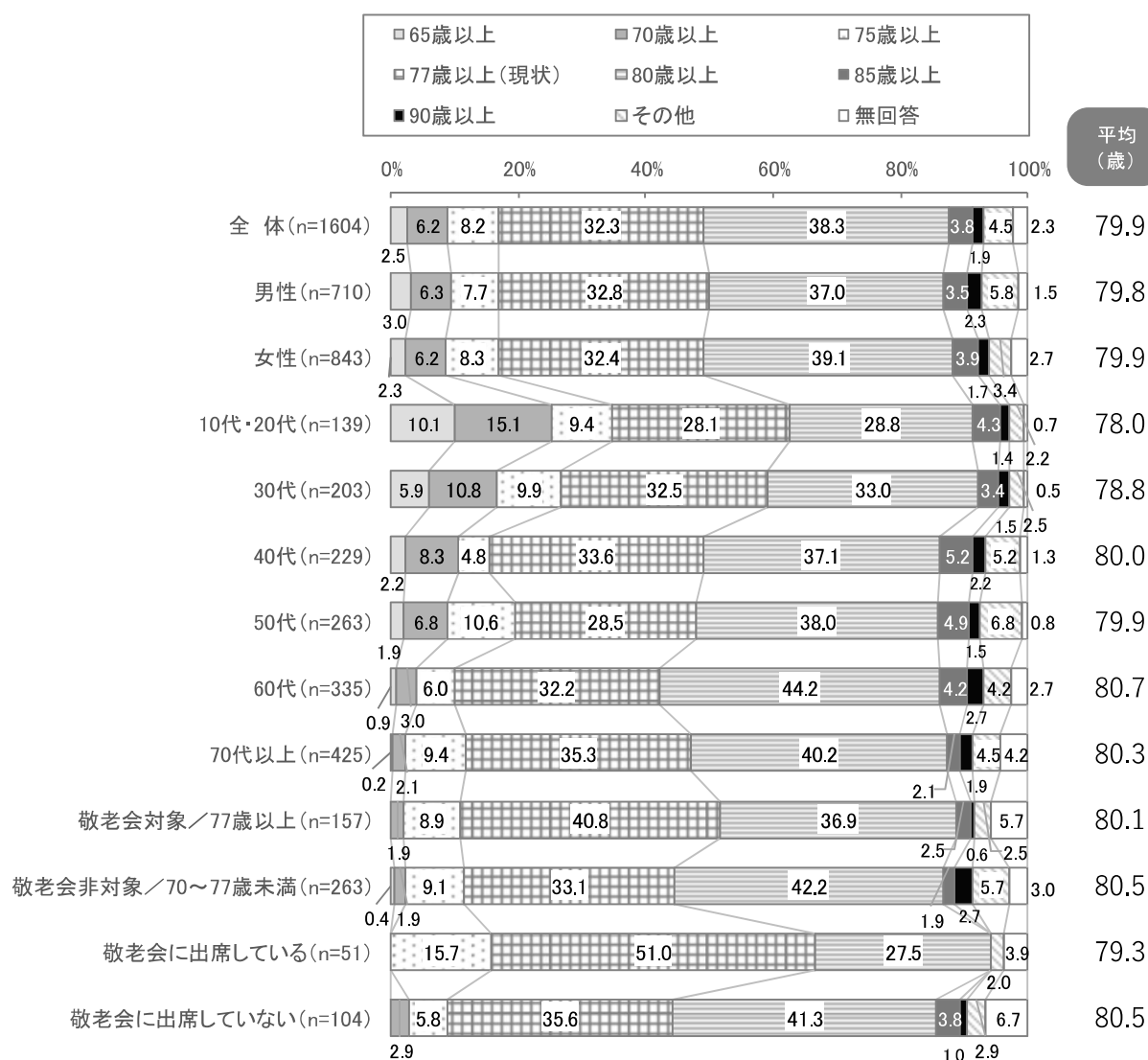
敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が最も高いが、対象者では「現状のままでよい(全体の経費は増える)」が21.0%と、非対象者に比べて2倍近く高い。

敬老会の出席者別にみると、出席者では「現状のままでよい(全体の経費は増える)」が31.4%で最も高く、非出席者では「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が26.9%で最も高い。



(2) 敬老会の対象年齢に関する考え

問 10 敬老会の対象年齢の設定は、何歳くらいが適当だと思いますか。(〇は1つ)



※平均は各項目の中位数を用い、「その他」「無回答」を除いて算出

敬老会の対象年齢に関する考えについて、全体で見ると、「80歳以上」が38.3%で最も高く、次いで「77歳以上(現状)」32.3%、「75歳以上」8.2%の順となっており、「平均(歳)」は79.9歳となっている。

男女別にみても、「80歳以上」が男女ともに最も高く、「平均(歳)」も男女に大きな差はみられない。

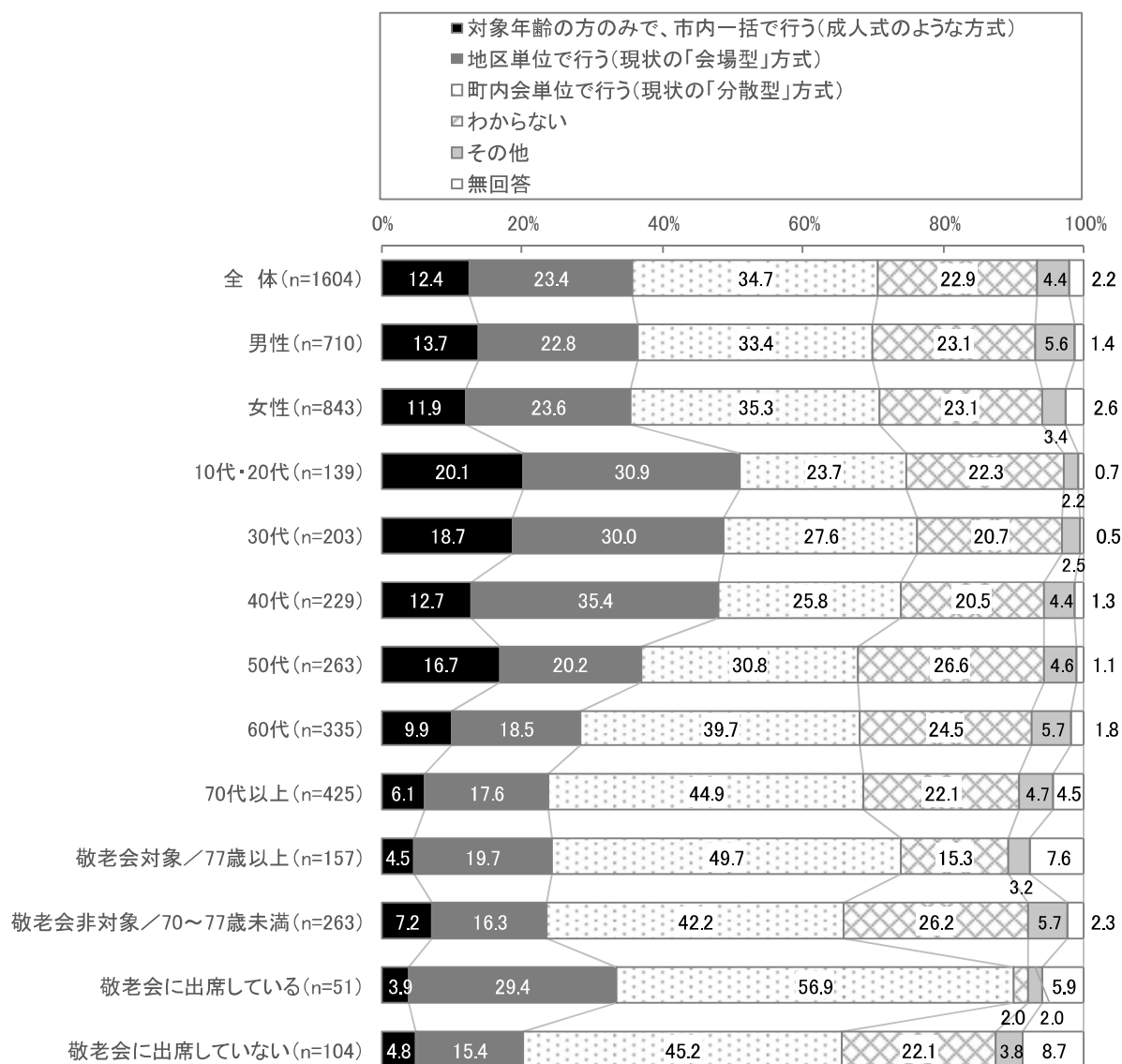
年代別にみても、「80歳以上」が全ての年代で最も高い。なお、年代が高くなるにつれて、「65歳以上」と「70歳以上」の割合が低くなっている。

敬老会対象別にみると、対象者では「77歳以上(現状)」が40.8%で最も高く、非対象者では「80歳以上」が42.2%で最も高い。

敬老会の出席者別にみると、出席者では「77歳以上(現状)」が51.0%で最も高く、非出席者では「80歳以上」が41.3%で最も高い。

(3) 敬老会の開催方法に関する考え

問 11 敬老会の開催方式は、どのような方式がよいと思いますか。(〇は1つ)



敬老会の開催方法に関する考えについて、全体で見ると、「町内会単位で行う(現状の「分散型」方式)」が34.7%で最も高く、次いで「地区単位で行う(現状の「会場型」方式)」23.4%、「わからない」22.9%の順となっている。

男女別にみても、「町内会単位で行う(分散型)」が男女ともに最も高い。

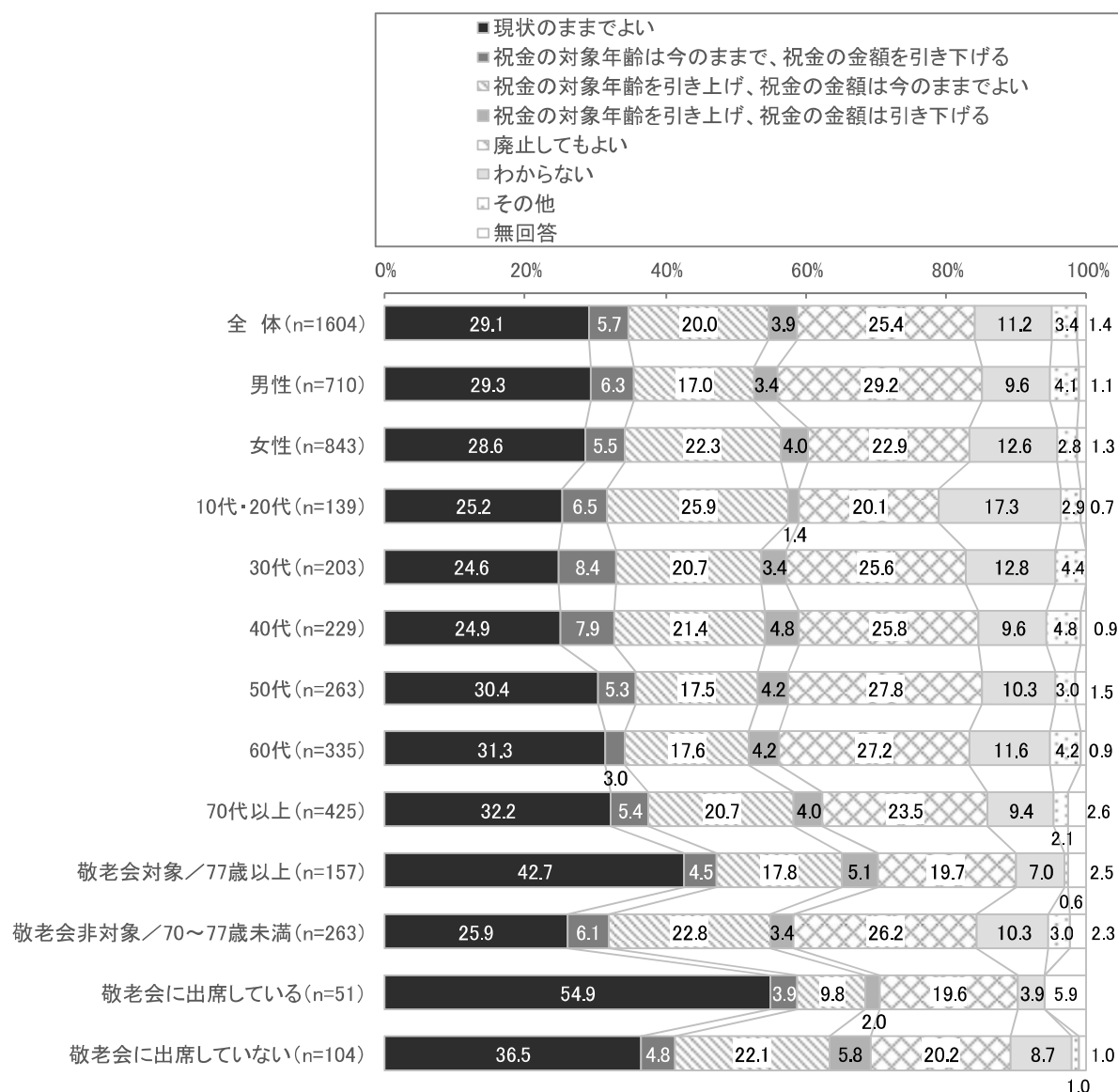
年代別にみると、40代以下では「地区単位で行う(会場型)」が最も高く、50代以上では「町内会単位で行う(分散型)」が最も高い。なお、40代を境に年代が高くなるごとに「地区単位で行う(会場型)」が低くなり、「町内会単位で行う(分散型)」が高くなる傾向がみられる。

敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに、「町内会単位で行う(分散型)」が最も高い。

敬老会の出席者別にみても、出席者・非出席者ともに「町内会単位で行う(分散型)」が最も高く、特に出席者では5割以上となっている。

(4) 敬老祝金支給事業に関する考え

問 12 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。(〇は1つ)



敬老祝金支給事業に関する考えについて、全体で見ると、「現状のままでよい」が 29.1%で最も高く、次いで「廃止してもよい」25.4%、「祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい」20.0%の順となっている。

男女別にみても、「現状のままでよい」が男女ともに最も高い。なお、男性では「廃止してもよい」が 29.2%で、「現状のままでよい」と拮抗している。

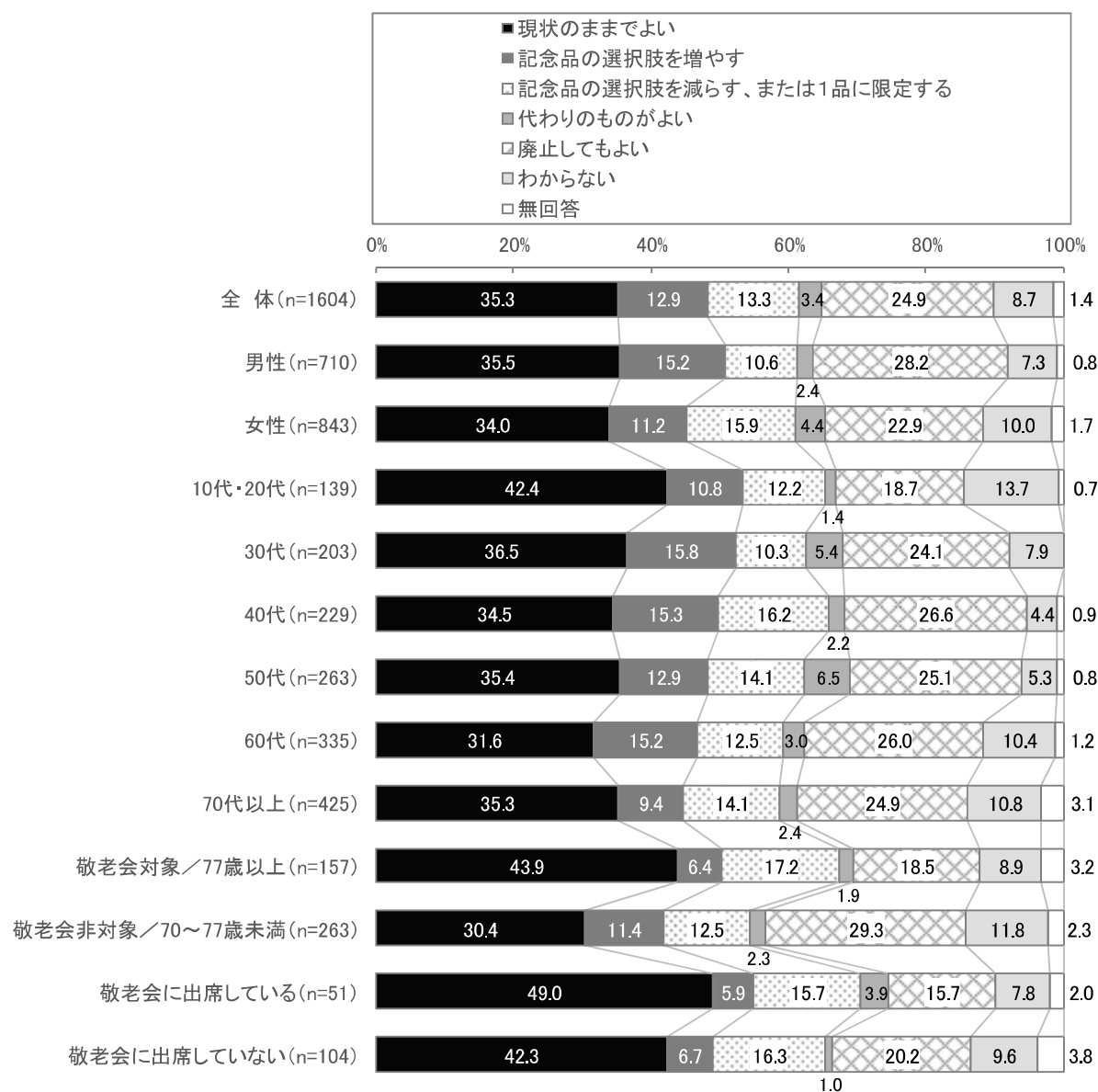
年代別にみると、10代・20代では「祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい」、30代、40代では「廃止してもよい」、50代以上では「現状のままでよい」が最も高い。

敬老会対象者別にみると、対象者では「現状のままでよい」が 42.7%と特に高くなっている。非対象者では「廃止してもよい」が「現状のままでよい」をわずかに上回った。

敬老会の出席者別にみると、出席者・非出席者ともに「現状のままでよい」が最も高く、特に出席者では 5割以上となっている。

(5) 米寿記念品支給事業に関する考え

問 13 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。(〇は1つ)



米寿記念品支給事業に関する考えについて、全体で見ると、「現状のままでよい」が 35.3%で最も高く、次いで「廃止してもよい」24.9%、「記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する」13.3%の順となっている。

男女別にみても、「現状のままでよい」が男女ともに最も高い。

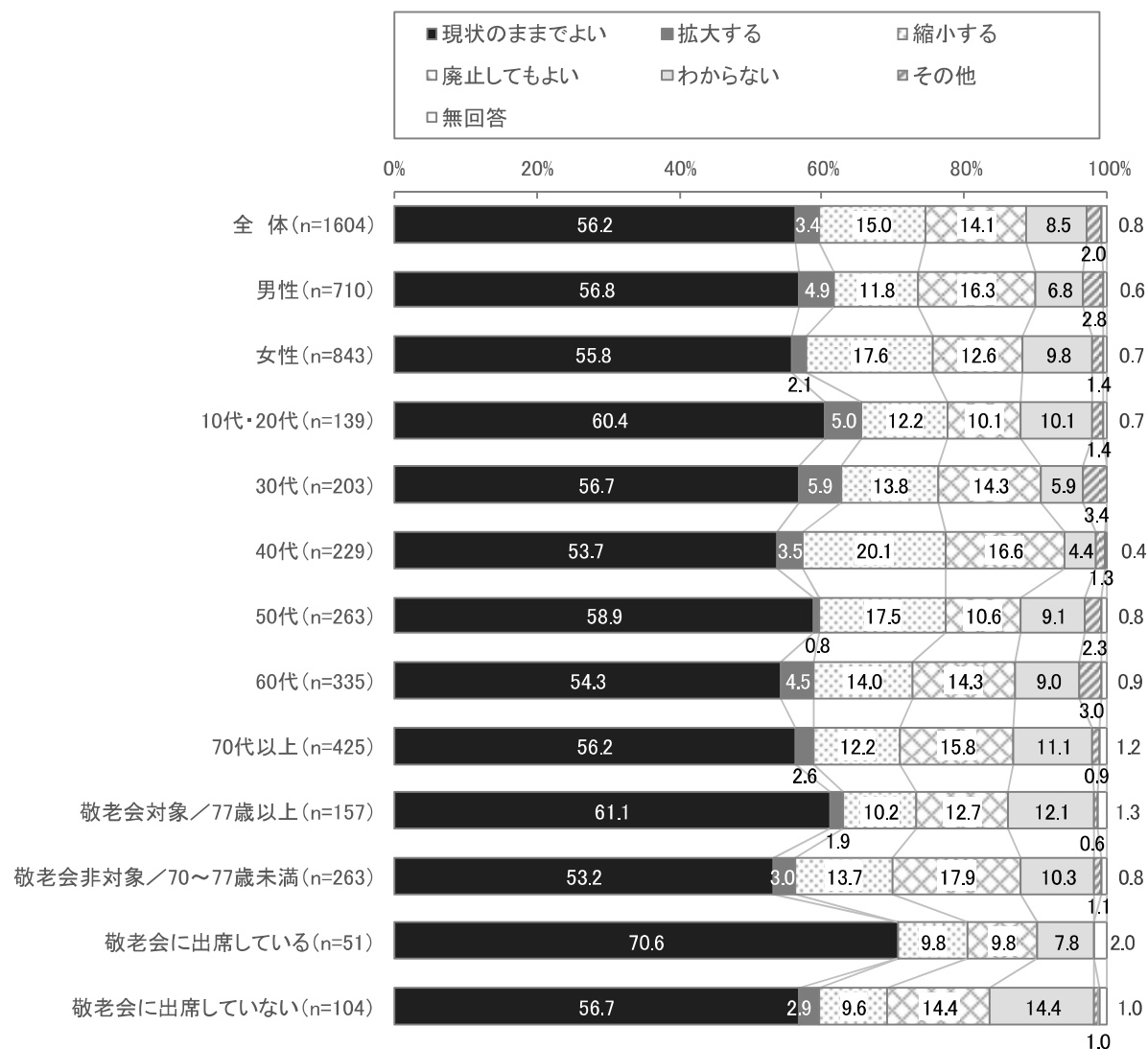
年代別にみても、「現状のままでよい」が全ての年代で最も高い。特に10代・20代では4割以上と他の世代に比べて高くなっている。

敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに「現状のままでよい」が最も高い。特に対象者では4割以上となっている。

敬老会の出席者別にみると、出席者・非出席者ともに「現状のままでよい」が最も高く、特に出席者では5割近くとなっている。

(6) 100歳長寿祝に関する考え

問 14 100歳長寿祝（10万円・花束・賀詞）について、どのように思いますか。（○は1つ）



100歳長寿祝に関する考えについて、全体で見ると、「現状のままでよい」が56.2%で最も高く、次いで「縮小する」15.0%、「廃止してもよい」14.1%の順となっている。

男女別にみても、「現状のままでよい」が男女ともに最も高い。

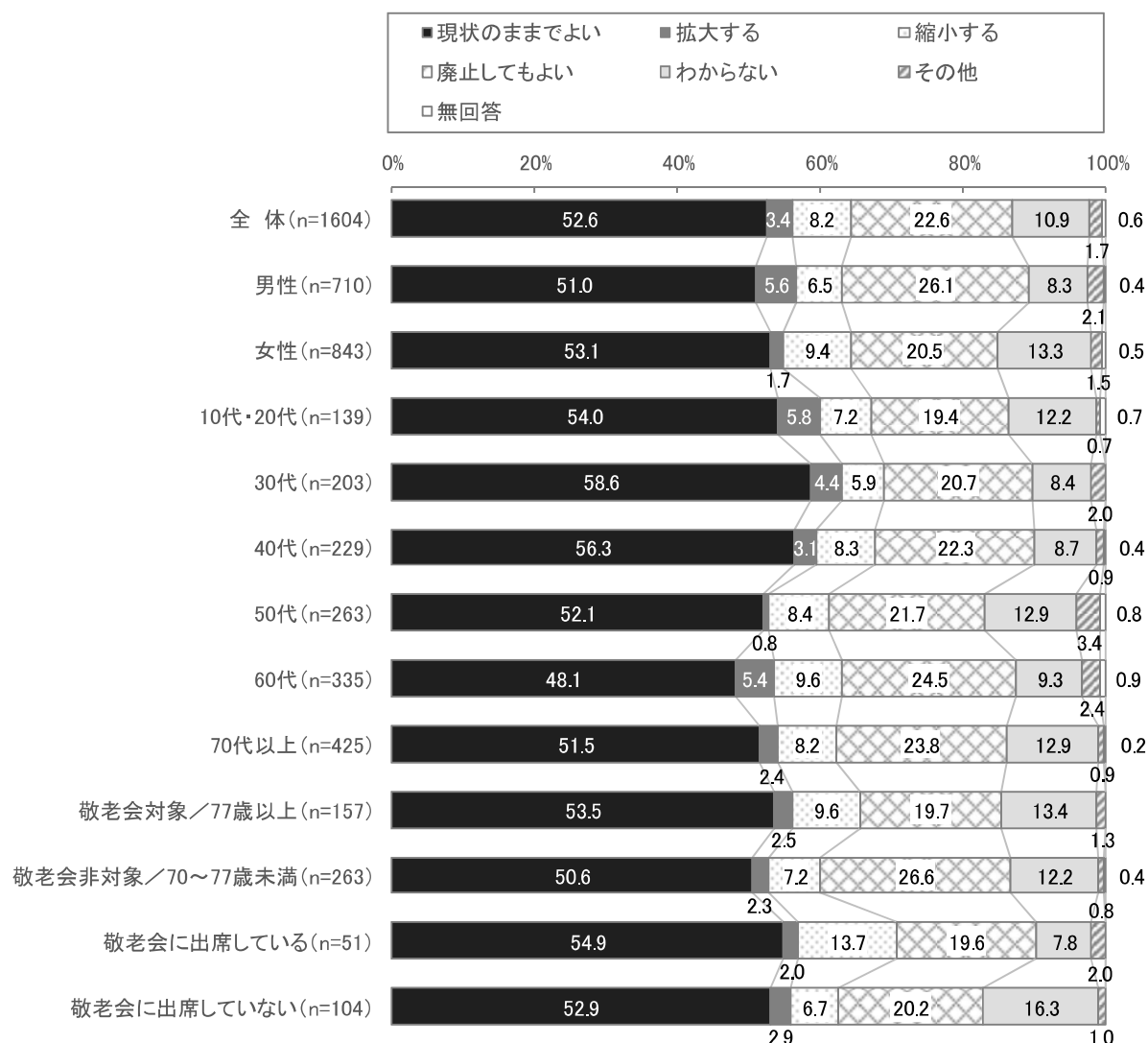
年代別にみても、「現状のままでよい」が全ての年代で最も高い。特に10代・20代では60.4%と他の世代に比べて高くなっている。

敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに、「現状のままでよい」が最も高い。特に対象者ではおよそ6割となっている。

敬老会の出席者別にみても、出席者・非出席者ともに「現状のままでよい」が最も高く、特に出席者では7割となっている。

(7) 最高齢者長寿祝に関する考え

問 15 最高齢者長寿祝（1万5,000円以内の記念品・花束）について、どのように思いますか。  
（○は1つ）



最高齢者長寿祝に関する考えについて、全体で見ると、「現状のままでよい」が52.6%で最も高く、次いで「廃止してもよい」22.6%、「わからない」10.9%の順となっている。

男女別にみても、「現状のままでよい」が男女ともに最も高い。

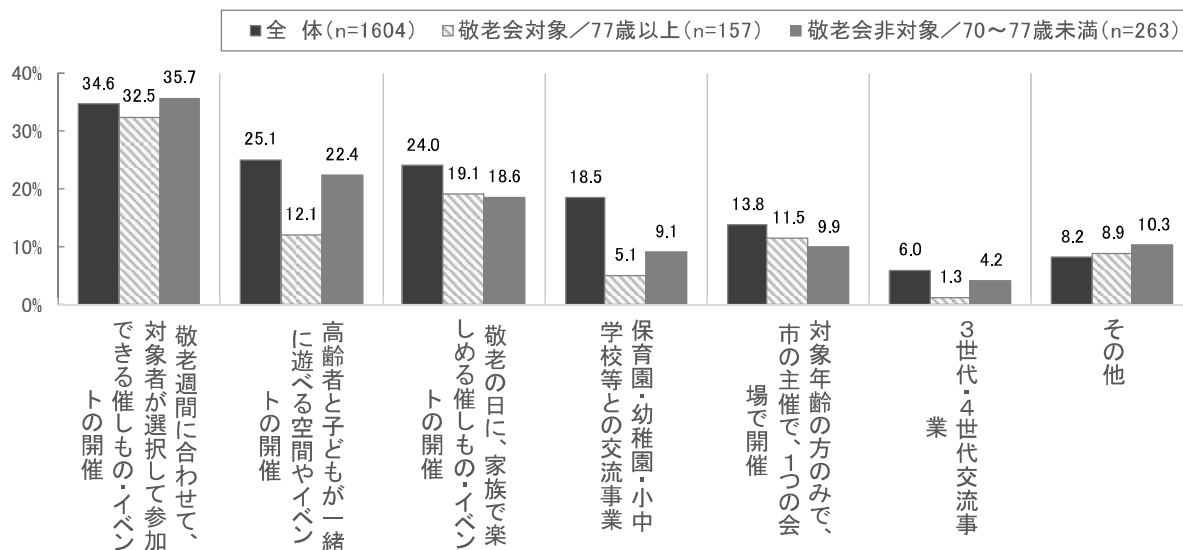
年代別にみても、「現状のままでよい」が全ての年代で最も高く、60代を除いて全ての世代で5割以上となっている。

敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに、「現状のままでよい」が最も高い。なお、「廃止してもよい」が非対象者で26.6%と3割近い割合となっている。

敬老会の出席者別にみても、出席者・非出席者ともに「現状のままでよい」が最も高い。

(8) 魅力的な敬老会

問 16 魅力的な敬老会とは、どのようなものだと思いますか。(〇はいくつでも)



(%)

	(n=)	敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催	高齢者と子どもが一緒に遊べる空間やイベントの開催(子どもたちとおしゃべりカフェ、昔の遊びなど)	敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催	保育園・幼稚園・小学校等との交流事業	対象年齢の方のみで、市の主催で、1つの会場で開催(成人式のような方式)	3世代・4世代交流事業	その他	無回答
全体	1604	34.6	25.1	24.0	18.5	13.8	6.0	8.2	8.0
男性	710	33.8	21.7	26.8	17.9	15.8	7.6	10.0	5.1
女性	843	36.1	27.6	21.6	19.7	12.7	5.1	6.9	9.5
10代・20代	139	30.9	29.5	35.3	28.8	21.6	7.2	6.5	1.4
30代	203	34.0	29.1	29.6	32.5	15.8	8.9	3.4	1.0
40代	229	30.6	27.1	24.9	27.9	15.3	7.4	5.7	0.9
50代	263	35.0	27.4	20.9	18.3	14.4	7.2	11.0	3.4
60代	335	40.0	25.4	24.8	14.0	12.8	6.0	9.3	9.9
70代以上	425	34.1	18.4	18.8	7.5	10.4	3.1	9.9	18.4
敬老会対象/77歳以上	157	32.5	12.1	19.1	5.1	11.5	1.3	8.9	24.2
敬老会非対象/70~77歳未満	263	35.7	22.4	18.6	9.1	9.9	4.2	10.3	14.1
敬老会に出席している	51	21.6	13.7	17.6	5.9	19.6	-	7.8	27.5
敬老会に出席していない	104	37.5	10.6	20.2	4.8	7.7	1.9	9.6	23.1

魅力的な敬老会について、全体で見ると、「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」が34.6%で最も高く、次いで「高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催」25.1%、「敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催」24.0%の順となっている。

男女別にみても、「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」が男女ともに最も高い。

年代別にみても、「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」が10代・20代を除いて全ての年代で最も高い。なお、10代・20代では「敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催」が最も高くなっている。また、30代を境に年代が高くなるにつれて「保育園・幼稚園・小中学校等との交流事業」の割合が低くなっている。

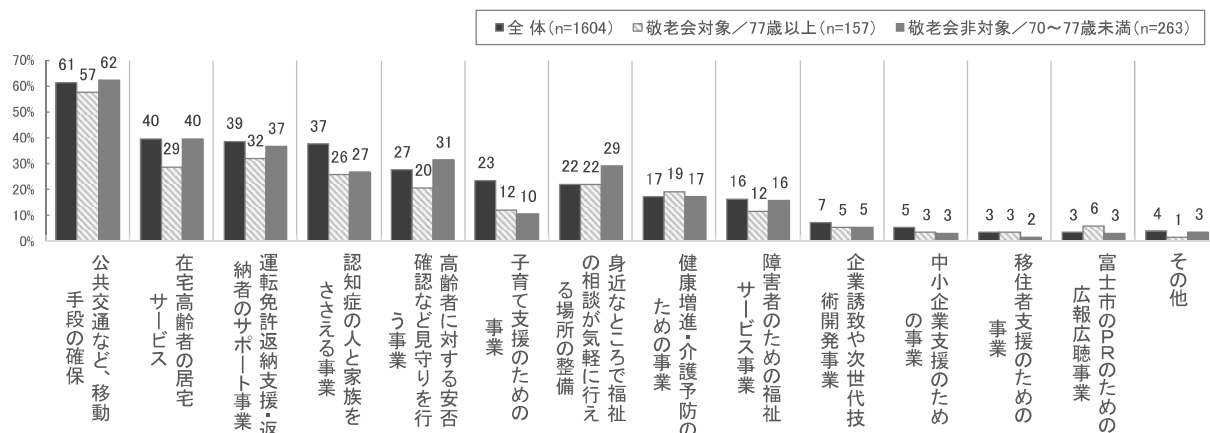
敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに、「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」が最も高い。なお、「高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催」が非対象者で22.4%と、対象者と比べて2倍近くになっている。

敬老会の出席者別にみても、出席者・非出席者ともに「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」が最も高い。なお、「対象年齢の方のみで、市の主催で、1つの会場で開催」が出席者で19.6%と、非出席者と比べて10ポイントほど高くなっている。



(9) 敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業

問 17 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業に振り分けるとしたら、どのようなサービス・事業を充実させてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)



	(n=)	移動手段の確保	公共交通(バス・電車・高齢者福祉タクシー)など	在宅高齢者の居宅サービス	運転免許返納支援・返納者のサポート事業	認知症の人と家族をささえる事業	高齢者に対する安否確認など見守りを行う事業	子育て支援のための事業	身近なところで福祉の相談が気軽にできる場所の整備	健康増進・介護予防のための事業(健康づくり教室・介護予防教室の開催など)	障害者のための福祉サービス事業	企業誘致や次世代技術開発事業	中小企業支援のための事業	移住者支援のための事業	富士市のPRのための広報広聴事業	その他	無回答
全体	1604	61.2	39.5	38.5	37.4	27.4	23.3	22.0	17.0	16.2	7.0	5.1	3.2	3.1	3.6	2.1	
男性	710	57.5	37.7	36.9	36.2	27.6	24.2	18.9	16.3	15.6	9.0	6.1	4.6	3.2	3.8	1.5	
女性	843	64.7	41.8	40.0	38.9	27.4	23.4	24.1	17.3	16.6	5.5	4.4	2.1	3.0	3.4	1.8	
10代・20代	139	56.1	33.8	36.0	38.1	24.5	45.3	17.3	17.3	14.4	9.4	11.5	6.5	4.3	3.6	0.7	
30代	203	63.1	39.9	48.8	46.3	29.1	45.8	15.8	14.3	17.2	10.8	7.4	4.9	3.4	5.9	-	
40代	229	56.8	46.3	39.3	45.9	26.6	27.5	23.6	16.2	19.7	7.4	7.4	2.6	2.2	2.6	0.4	
50代	263	66.2	43.3	39.9	41.1	26.6	16.7	19.0	16.0	15.6	6.5	5.3	1.9	1.1	4.9	1.5	
60代	335	63.0	40.3	36.4	38.2	29.9	19.4	23.6	19.1	17.3	6.3	2.1	3.6	3.3	2.7	3.0	
70代以上	425	60.0	35.1	34.4	25.9	26.8	10.8	26.1	17.6	14.1	5.2	3.1	2.1	4.0	2.6	3.5	
敬老会対象/77歳以上	157	57.3	28.7	31.8	25.5	20.4	12.1	21.7	19.1	11.5	5.1	3.2	3.2	5.7	1.3	4.5	
敬老会非対象/70~77歳未満	263	62.0	39.5	36.5	26.6	31.2	10.3	28.9	17.1	15.6	5.3	3.0	1.5	3.0	3.4	2.7	
敬老会に出席している	51	58.8	23.5	39.2	25.5	21.6	11.8	17.6	21.6	5.9	3.9	5.9	3.9	7.8	-	3.9	
敬老会に出席していない	104	56.7	31.7	27.9	26.0	20.2	10.6	24.0	17.3	13.5	5.8	1.9	2.9	4.8	1.9	4.8	

## Ⅱ 調査結果

敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業について、全体でみると、「公共交通(バス・電車・高齢者福祉タクシー)など、移動手段の確保」が61.2%で最も高く、次いで「在宅高齢者の居宅サービス」39.5%、「運転免許返納支援・返納者のサポート事業」38.5%の順となっている。

男女別にみても、「公共交通など、移動手段の確保」が男女ともに最も高い。特に女性では64.7%と6割以上となっている。

年代別にみても、「公共交通など、移動手段の確保」が全ての年代で最も高い。なお、10代・20代と30代の若い世代では、「子育て支援のための事業」が4割以上と他の世代に比べて高い。

敬老会対象者別にみても、対象者・非対象者ともに、「公共交通など、移動手段の確保」が最も高い。なお、「在宅高齢者の居宅サービス」が非対象者で39.5%と4割近い。

敬老会の出席者別にみても、出席者・非出席者ともに「公共交通など、移動手段の確保」が最も高い。なお、「運転免許返納支援・返納者のサポート事業」が出席者で39.2%と、非出席者と比べて10ポイント以上高くなっている。

## 付録 調査票



# 令和元年度 敬老事業に関するアンケート

## ～ご協力をお願い～

日頃から市政の推進にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

本市では、敬老事業全体の見直しにあたり、皆様のご意見などをお伺いし、今後の敬老事業の在り方についての検討の基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたします。

アンケート調査の実施にあたり、満 18 歳以上の市民の中から無作為に 3,000 人を選ばせていただきました。結果につきましては統計的な処理にのみ活用させていただきますので、あなたの個人情報が外部に漏れたり、ほかの目的に使用されたりすることは決してありません。

大変お忙しい折、恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 9 月 富士市長 小長井 義正

### ■調査の回答は、下記のどちらかの方法が選べます。

①郵送回答 (この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒にて送付)

### ②インターネット回答

- インターネットの回答の場合は、右記の回答 ID (番号) を入力し、ご回答ください。  
※この ID で個人が特定されることはありません。

【回答 ID】

- インターネット回答は、下記の URL ・ QRコードからアクセスしてください。

パソコン



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/dform.do?acs=keirojig>



パソコン用



スマートフォン・タブレット



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/sform.do?acs=keirojig>



スマートフォン・タブレット用



※アンケートについて、不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

富士市 福祉こども部 福祉総務課 電話：0545-55-2757 FAX:0545-52-2290

ご記入にあたってのお願い

1. この調査票では、あて名のご本人を「あなた」とします。できるだけご本人がお答えください。
2. 回答の基準日は、令和元年10月1日といたします。
3. 回答は、設問ごとに（○は1つ）、（○はいくつでも）など、指定された回答数だけ選んで、その番号を○で囲んでください。
4. 回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、（ ）内に具体的にご記入ください。

アンケートの  
ご投函期日

令和元年10月18日（金）まで

※同封の返信用封筒にてご返信ください（切手は不要です）

※インターネット回答の方は、郵送によるアンケートの返送は不要です

※なお、本調査は「株式会社トムス」に委託して実施しております。

受託者 株式会社トムス 静岡市駿河区登呂 3-1-1 静岡 新聞放送会館 13F  
電話：054-201-9323（9：00～17：00※土日祝を除く）



(1) あなたの性別は	1 男性	2 女性	3 その他
(2) あなたの年齢は	1 18～19 歳 2 20～24 歳 3 25～29 歳 4 30～34 歳 5 35～39 歳	6 40～44 歳 7 45～49 歳 8 50～54 歳 9 55～59 歳 10 60～64 歳	11 65～69 歳 12 70～74 歳 13 75～79 歳 14 80 歳以上
(3) あなたのご職業は (主なものを1つだけ)	1 勤め人 (正社員、公務員など) 2 自営業 3 農林漁業 4 非正規雇用者 (パート・アルバイト・派遣・契約等)	5 専業主婦 (夫) 6 学生 7 無職 8 その他 ( )	
(4) あなたの住んでいる 地区は	1 吉原 2 伝法 3 今泉 4 広見 5 元吉原 6 須津 7 浮島 8 吉永 9 原田	10 大淵 11 富士駅北 12 富士北 13 富士駅南 14 富士南 15 田子浦 16 岩松 17 鷹岡 18 丘	19 富士見台 20 神戸 21 天間 22 青葉台 23 吉永北 24 岩松北 25 富士川 26 松野 27 わからない ※具体的な地名又は小学校区をお書きください ( )
(5) あなたは富士市 (旧富士川町も含む) に住んでどのくらい になりますか	1 3年未満 2 3年以上5年未満 3 5年以上10年未満	4 10年以上20年未満 5 20年以上30年未満 6 30年以上	
(6) あなたのお宅の ご家族構成は	1 ひとり暮らし 2 夫婦ふたり 3 親と子ども (2世代) 4 親と子どもと祖父母 (3世代) 5 その他 ( )		
(7) あなた自身を含め、 同居や扶養家族の中 で、 <u>77歳以上</u> の方は いらっしゃいますか	1 いる 2 いない		

## 富士市の敬老事業全体について

〔問1〕 富士市では、高齢者を敬愛し長寿を祝うためや地域での交流をはかるために、77歳以上の方を対象に、下記のような敬老事業を実施しています。

あなたは、次にあげる富士市の敬老事業について、どの程度知っていますか。

	大体の事業内容まで知っていた (対象年齢・事業内容など)	詳しくは知らないが、 実施されていることは知っていた	知らなかった
(1)～(5)について、それぞれ1つずつ○をつける(例) →	1	2	3
(1) 敬老会の開催(77歳以上が対象) →	1	2	3
(2) 敬老祝金支給事業 (77歳、80歳、90歳、99歳に5,000円を贈呈) →	1	2	3
(3) 米寿記念品支給事業(88歳) (肖像写真・大座布団・地場産品の詰合せから 1品選択したものを贈呈) →	1	2	3
(4) 100歳長寿祝(10万円、花束、賀詞)を贈呈 →	1	2	3
(5) 最高齢者長寿祝 (1万5,000円以内の記念品、花束)を贈呈 →	1	2	3

〔問2〕 あなたは、日頃、65歳以上の家族や地域の高齢者と関わる機会がありますか。  
(○は1つ)

1 ある                      2 ない

〔問3〕 あなたは、これまでに敬老会や敬老に関する催しものの準備や運営に関わったことがありますか。(○は1つ)

1 ある                      2 ない





<問5で、「3 あまり出席していない」「4 一度も出席したことはない」と答えた方に伺います>

〔問7-1〕 敬老会に出席されない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 内容に魅力がない
- 2 会場の設備が悪い
- 3 会場までの交通手段がない
- 4 身体的な事情
- 5 家族の協力がなくない
- 6 出席するのが面倒
- 7 自身の年齢は、まだ“敬老会”に参加する年齢と認識していない
- 8 関心がない
- 9 その他 ( )

〔問7-2〕 どのような敬老会であれば、出席しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 会場での催し物などの内容が興味のあるもの
- 2 家から会場までの送迎がある
- 3 会場が近い
- 4 時間を気にせず、いつでも参加できるもの
- 5 内容が変わっても、出席しようとは思わない
- 6 その他 ( )

→ P5・問9へ

<問4で、「1 該当しない(77歳未満)」と答えた方に伺います>

〔問8-1〕あなたは、将来、敬老会の対象年齢(77歳以上)になったとき、敬老会に出席されますか。(〇は1つ)

- 1 是非出席したい
- 2 出席すると思う
- 3 あまり気が進まない
- 4 出席しないと思う
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

〔問8-2〕 どのような敬老会であれば、出席しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 会場での催し物などの内容が興味のあるもの
- 2 家から会場までの送迎がある
- 3 会場が近い
- 4 時間を気にせず、いつでも参加できるもの
- 5 内容が変わっても、出席しようとは思わない
- 6 その他 ( )



■敬老祝金支給事業について

77歳、80歳、90歳、99歳の方を対象に、5,000円を贈呈しています。  
(令和元年度の富士市の敬老祝金予算は、約3,200万円です)

■米寿記念品支給事業について

88歳の方を対象に、「肖像写真」「大座布団」「地場産品詰合せ」の中から1品を選択していただき、贈呈しています。  
(令和元年度の富士市の米寿記念品予算は、約1,200万円です)

〔問12〕 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 祝金の対象年齢は今のままで、祝金の金額を引き下げる
- 3 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい
- 4 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は引き下げる
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他 ( )

〔問13〕 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 記念品の選択肢を増やす
- 3 記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する
- 4 代替りのものがよい ( )
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない

〔問14〕 100歳長寿祝(10万円・花束・賀詞)について、どのように思いますか。  
(○は1つ)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 現状のままでよい | 4 廃止してもよい |
| 2 拡大する     | 5 わからない   |
| 3 縮小する     | 6 その他 ( ) |

〔問15〕 最高齢者長寿祝(1万5,000円以内の記念品・花束)について、どのように思いますか。(○は1つ)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 現状のままでよい | 4 廃止してもよい |
| 2 拡大する     | 5 わからない   |
| 3 縮小する     | 6 その他 ( ) |

〔問16〕 魅力的な敬老会とは、どのようなものだと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 対象年齢の方のみで、市の主催で、1つの会場で開催（成人式のような方式）
- 2 敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催
- 3 敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催
- 4 保育園・幼稚園・小中学校等との交流事業
- 5 3世代・4世代交流事業
- 6 高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催  
（子どもたちとおしゃべりカフェ、昔の遊びなど）
- 7 その他（ )

〔問17〕 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業に振り分けるとしたら、どのようなサービス・事業を充実させてほしいと思いますか。  
（○はいくつでも）

- 1 在宅高齢者の居宅サービス
- 2 認知症の人と家族をささえる事業
- 3 高齢者に対する安否確認など見守りを行う事業
- 4 身近なところで福祉の相談が気軽に行える場所の整備
- 5 健康増進・介護予防のための事業（健康づくり教室・介護予防教室の開催など）
- 6 公共交通（バス・電車・高齢者福祉タクシー）など、移動手段の確保
- 7 運転免許返納支援・返納者のサポート事業
- 8 障害者のための福祉サービス事業
- 9 子育て支援のための事業
- 10 移住者支援のための事業
- 11 富士市のPRのための広報広聴事業
- 12 企業誘致や次世代技術開発事業
- 13 中小企業支援のための事業
- 14 その他（ )

〔問18〕 「敬老会」「敬老事業」という名称を聞いて、あなたはどのような印象・イメージを持ちますか。あなたの感じていることを率直にご記入ください。  
また、「こんな名称がよい・親しみやすい」と思う名称がありましたら、自由に記載してください。（具体的に）

■ 「敬老会」「敬老事業」の印象・イメージについて


■ 「敬老会」の名称・ネーミングについて（こんな名称がよい・親しみやすいなど）


〔問19〕 「敬老事業」についてのご意見、ご要望などがありましたら、自由に記入してください。（具体的に）


富士市では、今後、敬老事業についてのインタビューや意見交換を予定しております。  
 協力してもよいという方は、住所・氏名等をご記入ください。  
 （後日、富士市担当課からご連絡させていただく場合があります。）

**■インタビューや意見交換会にご協力いただける方は、下記をご記入ください。**

お名前	(フリガナ: .....)										
ご連絡先	-										
ご住所	〒 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 富士市										
メールアドレス	@										

※ご記入いただきました個人情報、富士市及び調査委託先にて厳重に管理し、敬老事業についてのインタビューや意見交換の目的以外に利用することはありません。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご投函期日は、令和元年10月18日（金）です。

（同封の返信用封筒にてご返信ください。切手は不要です）



令和元年度

---

敬老事業に関するアンケート（主催団体）

---

報 告 書

富士市 福祉こども部 福祉総務課

# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間	2
4	調査方法	2
5	回収結果	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	今後の富士市の敬老事業のあり方について	4
問1	今後の敬老事業のあり方に関する考え	4
問2	敬老会の対象年齢に関する考え	5
問3	敬老会の開催方法に関する考え	6
問4	敬老祝金支給事業に関する考え	7
問5	米寿記念品支給事業に関する考え	8
問6	100歳長寿祝に関する考え	9
問7	最高齢長寿祝に関する考え	10
問8	魅力的な敬老会について	11
問9	敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業	12

付録 調査票

# I 調査の概要

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、敬老事業の見直しにあたり、敬老会の主催団体に意見を伺い、今後の敬老事業のあり方についての検討の基礎資料をすることを目的として実施した。

## 2 調査対象

敬老会の主催団体である、町内会（388町内会）及び社会福祉法人等（25施設）

## 3 調査期間

令和2年1月14日から令和2年1月31日

## 4 調査方法

郵送による配布及び回収

## 5 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
413 票	365 票	88.4%

## 6 調査結果の表示方法

○調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

○選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いている。

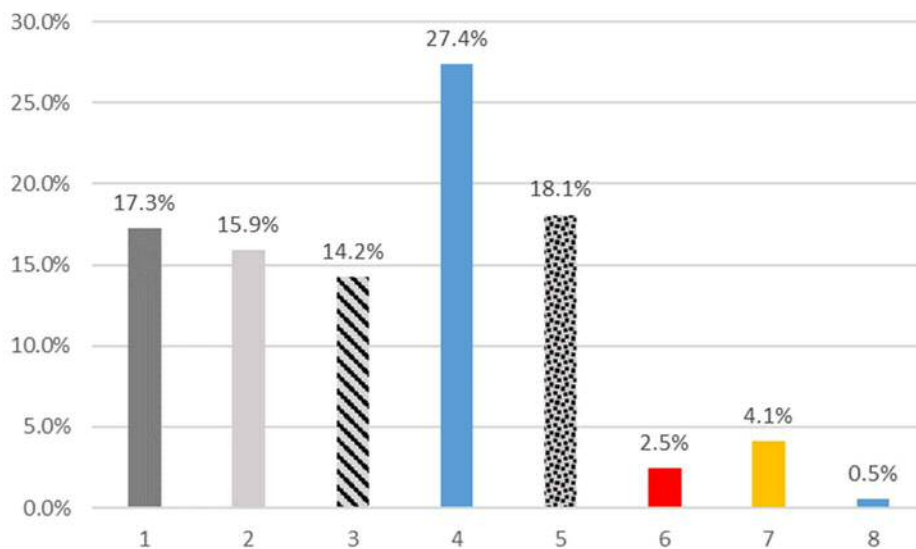
## II 調查結果

## 1 今後の敬老事業のあり方について

### 今後の敬老事業のあり方に関する考え

問1 今後の敬老会のあり方について、あなたのお考えをお答えください。(〇は1つ)

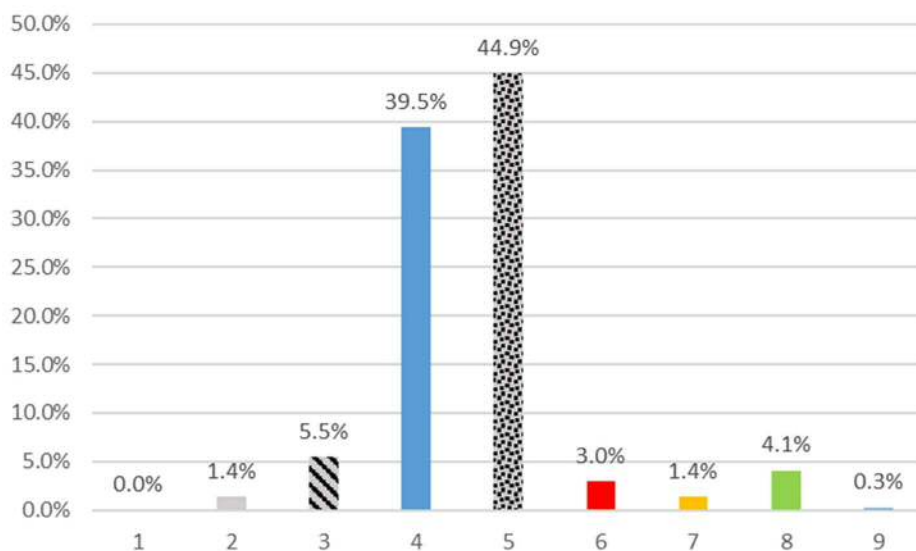
- 1 現状のままでよい(全体の経費は増える)
- 2 対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する
- 3 1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する
- 4 対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他
- 8 無回答



今後の敬老会のあり方に関する考えについて、「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が27.4%で最も高く、次いで「廃止してもよい」18.1%、「現状のままでよい」17.3%、「対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する」15.9%、「1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する」14.2%の順となっている。

問2 敬老会の対象年齢の設定は、何歳くらいが適当だと思いますか。(〇は1つ)

1	65 歳以上	4	77 歳以上 (現状)	7	90 歳以上
2	70 歳以上	5	80 歳以上	8	その他
3	75 歳以上	6	85 歳以上	9	無回答

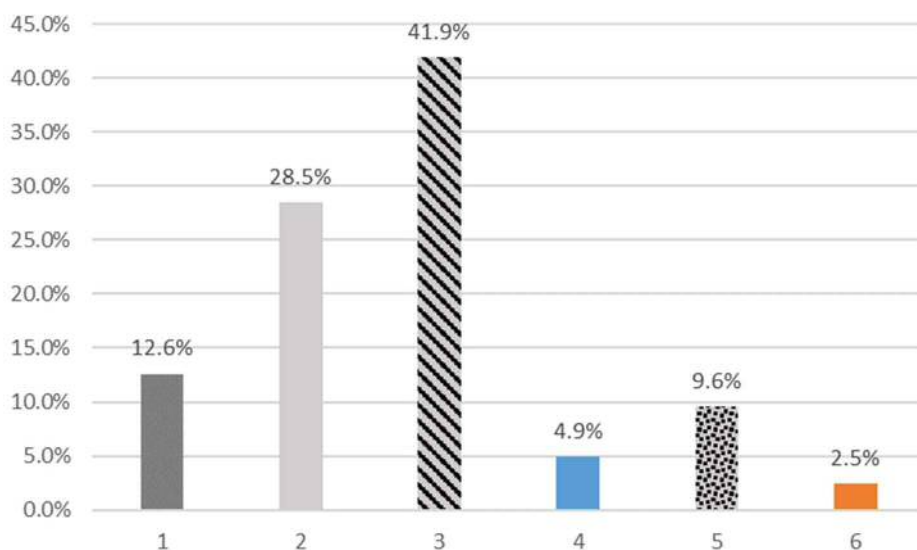


敬老会の対象年齢に関する考えについて、「80 歳以上」が 44.9%で最も高く、次いで「77 歳以上 (現状)」39.5%となっている。

「80 歳以上」「77 歳以上 (現状)」2 項目の回答が、全体の約 85%を占めている。

問3 敬老会の開催方式は、どのような方式がよいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 対象年齢の方のみで、市内一括で行う（成人式のような方式）
- 2 地区単位で行う（現状の「会場型」方式）
- 3 町内会単位で行う（現状の「分散型」方式）
- 4 わからない
- 5 その他
- 6 無回答

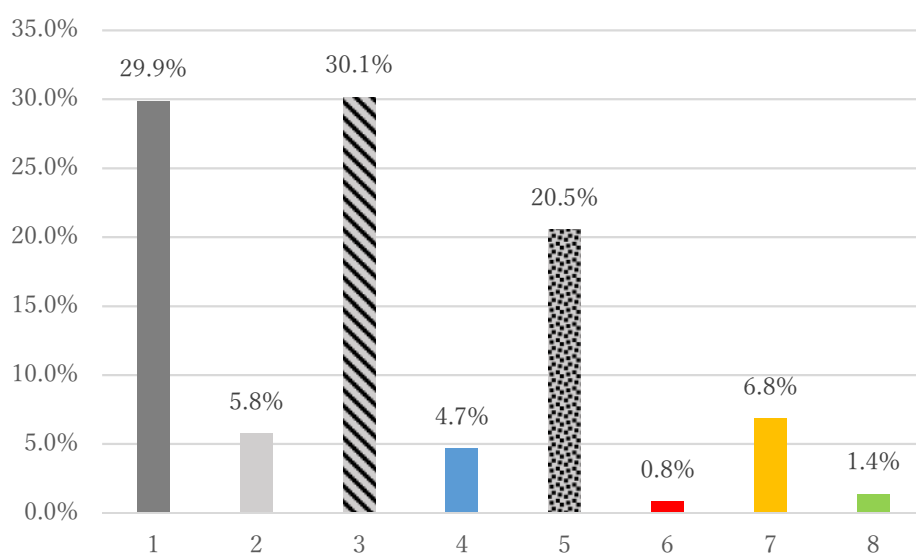


敬老会の開催方法に関する考えについて、「町内会単位で行う（現状の「分散型」方式）」が 41.9%で最も高く、次いで「地区単位で行う（現状の「会場型」方式）」28.5%、「対象年齢の方のみで、市内一括で行う（成人式のような方式）」12.6%の順となっている。



問4 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。(〇は1つ)

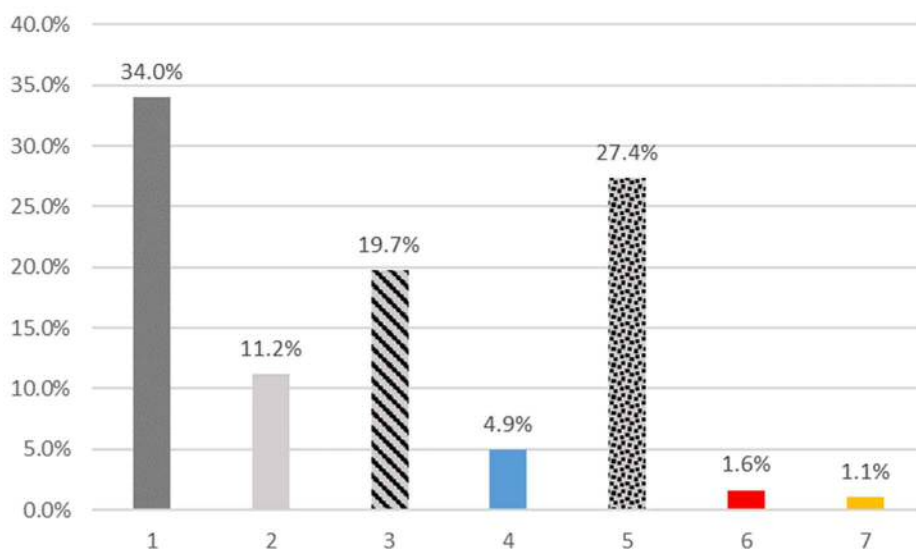
- 1 現状のままでよい
- 2 祝金の対象年齢は今のままで、祝金の金額を引き下げる
- 3 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい
- 4 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は引き下げる
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他
- 8 無回答



敬老祝金支給事業に関する考えについて、「祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい」が30.1%で最も高く、次いで「現状のままでよい」29.9%、「廃止してもよい」20.5%の順となっている。

問5 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。(〇は1つ)

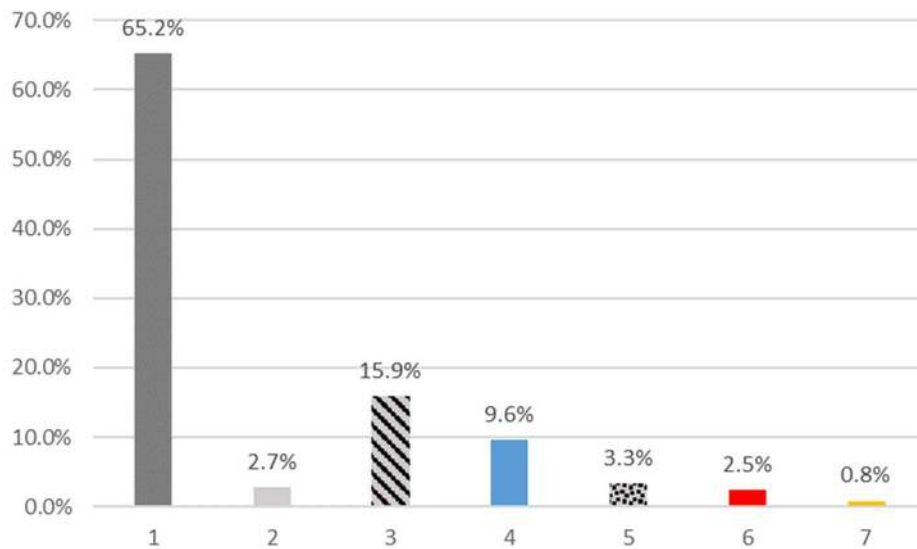
- 1 現状のままでよい
- 2 記念品の選択肢を増やす
- 3 記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する
- 4 代替りのものがよい
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 無回答



米寿記念品支給事業に関する考えについて、「現状のままでよい」が34.0%で最も高く、次いで「廃止してもよい」27.4%、「記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する」19.7%の順となっている。

問6 100歳長寿祝（10万円・花束・賀詞）についてどのように思いますか。（○は1つ）

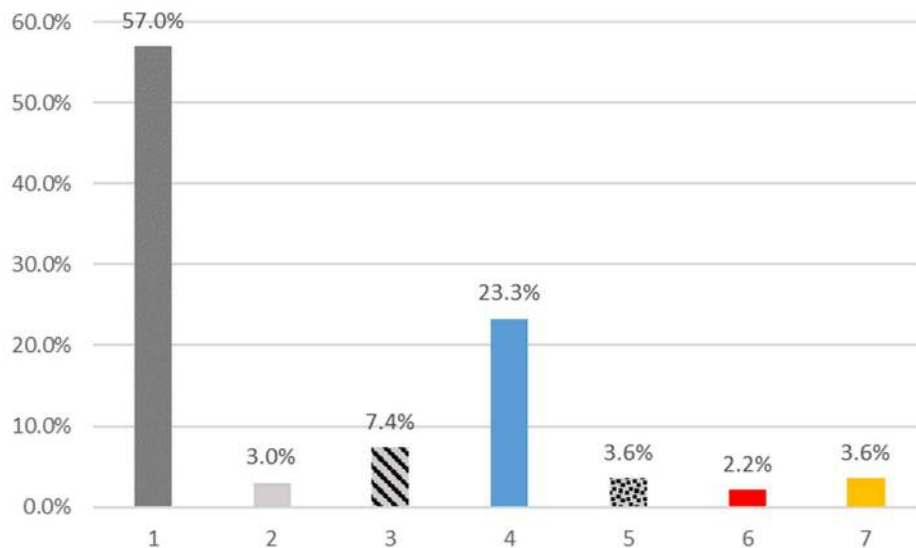
- |            |           |       |
|------------|-----------|-------|
| 1 現状のままでよい | 4 廃止してもよい | 7 無回答 |
| 2 拡大する     | 5 わからない   |       |
| 3 縮小する     | 6 その他     |       |



100歳長寿祝に関する考えについて、「現状のままでよい」が65.2%で最も高く、次いで「縮小する」15.9%、「廃止してもよい」9.6%の順となっている。

問7 最高齢者長寿祝（1万5,000円以内の記念品・花束）について、どのように思いますか。  
（〇は1つ）

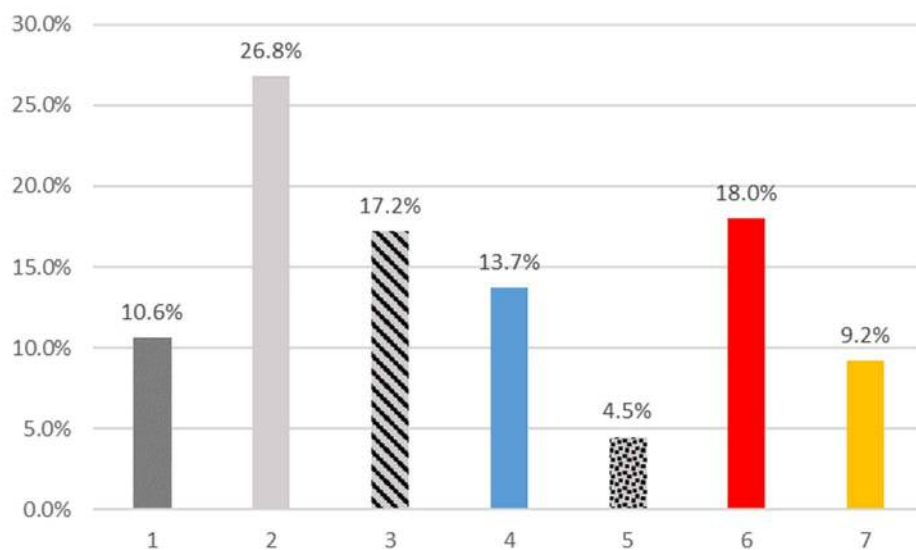
- |            |           |       |
|------------|-----------|-------|
| 1 現状のままでよい | 4 廃止してもよい | 7 無回答 |
| 2 拡大する     | 5 わからない   |       |
| 3 縮小する     | 6 その他     |       |



最高齢者長寿祝に関する考えについて、「現状のままでよい」57.0%が最も高く、次いで「廃止してもよい」23.3%、「縮小する」7.4%の順となっている。

問8 魅力的な敬老会とは、どのようなものだと思いますか。(〇はいくつでも)

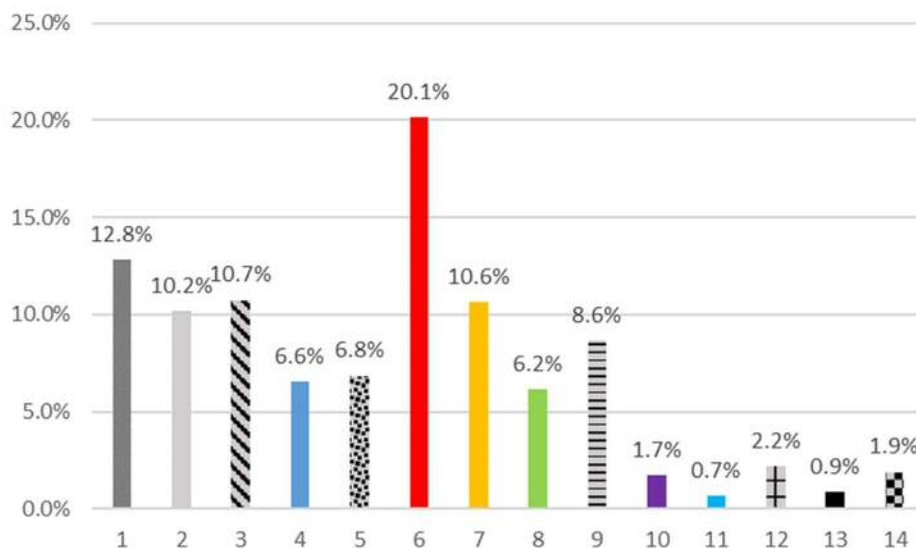
- 1 対象年齢の方のみで、市の主催で、1つの会場で開催（成人式のような方式）
- 2 敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催
- 3 敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催
- 4 保育園・幼稚園・小中学校等との交流事業
- 5 3世代・4世代交流事業
- 6 高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催  
（子どもたちとおしゃべりカフェ、昔の遊びなど）
- 7 その他



魅力的な敬老会について、「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」26.8%が最も高く、次いで「高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催（子どもたちとおしゃべりカフェ、昔の遊びなど）」18.0%、「敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催」17.2%の順となっている。

問9 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業に振り分けるとしたら、どのようなサービス・事業を充実させてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 在宅高齢者の居宅サービス
- 2 認知症の人と家族をささえる事業
- 3 高齢者に対する安否確認など見守りを行う事業
- 4 身近なところで福祉の相談が気軽に行える場所の整備
- 5 健康増進・介護予防のための事業（健康づくり教室・介護予防教室の開催など）
- 6 公共交通（バス・電車・高齢者福祉タクシー）など、移動手段の確保
- 7 運転免許返納支援・返納者のサポート事業
- 8 障害者のための福祉サービス事業
- 9 子育て支援のための事業
- 10 移住者支援のための事業
- 11 富士市のPRのための広報広聴事業
- 12 企業誘致や次世代技術開発事業
- 13 中小企業支援のための事業
- 14 その他



敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業について、「公共交通（バス・電車・高齢者福祉タクシー）など、移動手段の確保」が 20.1%で最も高く、次いで「在宅高齢者の居宅サービス」12.8%、「高齢者に対する安否確認など見守りを行う事業」10.7%の順となっている。

## 付録 調査票





# 令和元年度 敬老事業に関するアンケート

町内会（区）名（ ） 回答者氏名（ ）

## 今後の富士市の敬老事業のあり方について

敬老事業対象者は、今後も増加していくことが見込まれ、現状の敬老事業を継続すると、敬老会主催者（富士市・富士市町内会連合会・富士市社会福祉協議会）の経費負担は、更に大きくなることから、経費増加の抑制を検討する必要があります。

このことを前提に以下の問いにお答えください。

### ■敬老会の開催運営について

富士市では、**77歳以上の方を対象**に、年1回町内会（区）の各地区の実情に合わせて、**以下の3つの開催方法**で敬老会を行っています。

- ・会場型（地区全体で、小学校や社会福祉センター等で開催）
- ・分散型（町内会ごと公会堂等で開催）
- ・一部分散型（数町内がまとまり会場型で、他の町内は町内会ごと公会堂等で開催）

### ■敬老会の開催費用について

開催費用は、敬老会主催者の各負担により運営し、令和元年度の敬老会対象者は30,907人、敬老会の全体経費は約8,500万円となります。

（1人当たりの経費は2,730円となります）

〔問1〕 今後の敬老会のあり方について、あなたのお考えをお答えください。（○は1つ）

- 1 現状のままでよい（全体の経費は増える）
- 2 対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する
- 3 1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する
- 4 対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他（ ）

〔問2〕 敬老会の対象年齢の設定は、何歳くらいが適当だと思いますか。（○は1つ）

- |         |             |         |
|---------|-------------|---------|
| 1 65歳以上 | 4 77歳以上（現状） | 7 90歳以上 |
| 2 70歳以上 | 5 80歳以上     | 8 その他   |
| 3 75歳以上 | 6 85歳以上     | （ ）     |

〔問3〕 敬老会の開催方式は、どのような方式がよいと思いますか。 (○は1つ)

- 1 対象年齢の方のみで、市内一括で行う (成人式のような方式)
- 2 地区単位で行う (現状の「会場型」方式)
- 3 町内会単位で行う (現状の「分散型」方式)
- 4 わからない
- 5 その他 ( )

■敬老祝金支給事業について

77歳、80歳、90歳、99歳の方を対象に、5,000円を贈呈しています。  
(令和元年度の富士市の敬老祝金予算は、約3,200万円です)

■米寿記念品支給事業について

88歳の方を対象に、「肖像写真」「大座布団」「地場産品詰合せ」の中から1品を選択していただき、贈呈しています。  
(令和元年度の富士市の米寿記念品予算は、約1,200万円です)

〔問4〕 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。 (○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 祝金の対象年齢は今のままで、祝金の金額を引き下げる
- 3 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい
- 4 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は引き下げる
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他 ( )

〔問5〕 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。 (○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 記念品の選択肢を増やす
- 3 記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する
- 4 代替りのものがよい ( )
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない

〔問6〕 100歳長寿祝(10万円・花束・賀詞)についてどのように思いますか。 (○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 拡大する
- 3 縮小する
- 4 廃止してもよい
- 5 わからない
- 6 その他 ( )





## 敬老事業フォーカスグループインタビュー

### フォーカスグループインタビューとは

複数の対象者に対し、座談会形式でインタビューを行う調査方法。  
アンケート調査などの定量調査では捉えきれない市民の潜在的なニーズ  
やご意見を収集することが目的

日 時 令和2年2月27日（木）19時

会 場 フィランセ 西館3F 会議室

対象者 9月に実施した「敬老事業に関するアンケート」において  
インタビューへご協力の意思表示をしていただいた149名中  
参加していただいた13名

（年代内訳）20代 1名、40代 3名、50代 1名

60代 1名、70代 5名、80代 2名

（性 別）男性 11名、女性 2名

内 容 問1 あなたは敬老会に出席しますか？また、今後の敬老会の必要性に  
ついてのお考えをお聞かせください。

- ・出席する 8、出席しない 3、わからない 2
- ・必要性ある 7、必要性ない 4、わからない 2
- ・対象年齢あげるべき
- ・地域のコミュニケーション、支えあいが大事。
- ・対象者が楽しみにしている。
- ・敬老意識の醸成
- ・参加率低く、必要性感じない

問2 祝金（77歳・80歳・90歳・99歳に5,000円を贈呈）について

- ・縮小 8、廃止 4、継続 1
- ・不公平感が出ないように、生涯に1回もらえる制度にしたらどうか。
- ・88歳米寿祝のみでいいと思う。
- ・別の事業に使ったらどうか。
- ・金額を下げ対象年齢区分を変えない。

問3 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業の  
に振り分けるとしたらどのような事業を充実させて欲しいか。

- ・高齢者のための公共交通補助、バス・タクシーの充実
- ・新富士駅、富士駅周辺の再開発
- ・若年層に魅力的な商業施設誘致
- ・福祉事業、サロンの充実
- ・学校の環境整備
- ・保育や介護職の待遇改善

## フォーカスグループインタビュー

### フォーカスグループインタビューとは

複数の対象者に対し、座談会形式でインタビューを行う調査方法です。アンケート調査などの定量調査では捉えきれない市民の潜在的なニーズやご意見を収集する事が目的です。

頂いたご意見がすぐに反映されるわけではありませんが、今後の事業の参考とし、施策に活かすために実施させていただくものです。

**【方法】** 過日実施した「敬老事業に関するアンケート」においてインタビューへのご協力の意思表示をしていただいた方にご案内を送り、参加可能な方にお集まりいただき、グループに分けて行います。  
お伺いしたい内容は以下のとおりですのでよろしくお願いいたします。

- 【内容】**
- 1 あなたは敬老会に出席しますか？また、今後の敬老会の必要性についてのお考えをお聞かせください。
  - 2 祝金（77歳・80歳・90歳・99歳に5,000円を贈呈）についてどのように思いますか。
  - 3 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業に振り分けるとしたらどのようなサービス・事業を充実させてほしいと思いますか。